

この「答えとてびき」はとりはずしてお使いください。



教科書ぴったりトレーニング

# 答えとてびき

学校図書版 算数 4年



◆ **もんだい 問題がとけたら...**

- ① まずは答え合わせをしましょう。
- ② 次にてびきを読んでかくにんしましょう。

**おうちのがたへ** では、次のようなものを示しています。

- ・学習のねらいやポイント
- ・他の学年や他の単元の学習内容とのつながり
- ・まちがしやすいことやつまずきやすいところ

お子様への説明や、学習内容の把握などにご活用ください。

**しあげの5分レッスン** では、

学習の最後に取り組む内容を示しています。  
学習をふりかえることで学力の定着を図ります。

**答え合わせの時間短縮に 丸つけラクラク解答 デジタルもご活用ください!**

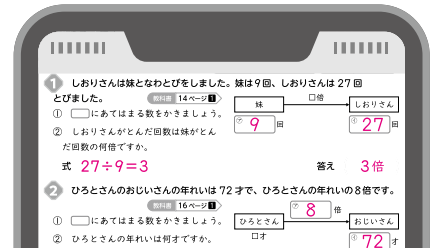
右の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、赤字解答の入った本文紙面を見ながら簡単に答え合わせができます。



丸つけラクラク解答デジタルは以下の URL から確認できます。

<https://www.shinko-keirinwebshop.com/shinko/2024pt/rakurakudegi/MGT4da/index.html>

※丸つけラクラク解答デジタルは無料でご利用いただけますが、通信料金はお客様のご負担となります。  
※QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



## 1 大きい数

**ぴったりに1 じゃんび**

2 ページ

- 1 (1)五兆四千七百三十億 (2)百兆、百六十二兆四千億
- 2 41935000、419350
- 3 >

**ぴったりに2 練習**

3 ページ

**てびき**

- 1 ①10000000000 ②百億 ③10
  - 2 ①四百五十億 ②九十三兆
  - 3 ①6000000000000000  
②30000000000000  
③7000000000  
④8000000000000
  - 4 ①ア2000万 ①6000万 ㊦9000万  
②㊥9300億 ㊤9700億 ㊣1兆100億
  - 5 ①< ②>
- 1 10こ集めると、位が1つ左へ進みます。
  - 2 4けたのかたまりごとに、右から一、十、百、千になります。  
また、4けたをひとまとまりとして、万、億、兆になります。
  - 3 10倍すると位が1つ、100倍すると位が2つ、1000倍すると位が3つ上がります。  
また、 $\frac{1}{10}$ にすると位が1つ下がります。
  - 4 ①数直線の1目もりは1000万です。  
②数直線の1目もりは100億です。
  - 5 けた数が同じなので、大きい位の数から、数字の大きさをくらべていきます。

- 1 320、600320
- 2 (1)23、23、39億 (2)254、254万
- 3 (1)106、106万 (2)100、100億

- 1 ①60  
②6、1  
③601300
  - 2 ①42008350000  
②8037000000000
  - 3 ①290万 ②602億 ③65兆 ④5874億
  - 4 ①926億 ②3590兆 ③32万 ④6兆
- 1 六十兆千三百億と読みます。  
1億を10000こ集めた数が1兆だから、60兆は1億を600000こ集めた数です。
  - 2 ②1兆を8こで8兆、100億を3こで、10億を7こで370億です。
  - 3 整数どうしてたし算やひき算をし、その答えに万、億、兆などの位を表す漢字をつけます。
  - 4 整数どうしてかけ算やわり算をし、その答えに万、億、兆などの位を表す漢字をつけます。

- 1 ①千七百六十五億(一千七百六十五億でもよい)  
②八十兆百八十億
  - 2 ①280000000  
②10006300000000
  - 3 ①36157300000000  
②40860000000000
  - 4 ①4800000000000  
②2500000000000
  - 5 ㊦8300億 ㊩1兆200億
  - 6 ①1055万 ②89億 ③1380億  
④9兆
  - 7 ①> ②<
  - 8 ①987654321  
②102345678
- 1 右から4けたごとに区切って読みます。
  - 2 兆、億、万の区切りごとに考えます。
  - 3 ②10兆を4こで40兆、1000億を8こ、100億を6こで8600億です。
  - 4 ①位が2つ上がって、4兆8000億になります。  
②位が1つ下がって、2兆5000億になります。
  - 5 数直線は、1000億を10等分しているの、1目もりが100億です。
  - 6 整数どうして計算し、万、億、兆を使った数で表します。
  - 7 けた数が同じなので、大きい位の数から数字の大きさをくらべていきます。
  - 8 ②大きい位の数字が小さい方が数は小さくなります。  
ただし、0は左のはしにおくことはできないから、いちばん小さい数の左のはしは1です。

ぼん

- 1 ①52こ  
②7250000000000000000

- 1 ①1万までに0が4こ、万、億、兆、京、垓、穰、溝、澗、正、載、極で、それぞれ0が4こならぶので、0は、 $4 + 4 \times 12 = 52$ で、52こならびます。  
②725の次に、0が16こならびます。

🎯しあげの5分レッスン まちがえた問題をもう1回やってみよう。

## 2 お 折れ線グラフ

びっぴり1 **じゃんび**

8 ページ

- 1 ①20 ②30 ③8 ④9

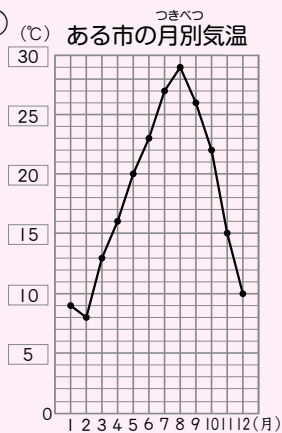
びっぴり2 **練習**

9 ページ

てびき

- 1 ①7℃  
②13℃  
③午後1時から午後2時の間  
④午後4時から午後5時の間  
⑤8℃

- 2 ①②



- ③10月から11月の間

- 1 ①たてのじくの1目もりは1℃です。  
②折れ線グラフがいちばん上にある点を読みとります。  
③折れ線のかたむきがたいらになっているところをさがします。  
④折れ線のかたむきが右下がりて、いちばん急なところをさがします。  
⑤午前8時は5℃、午後1時は13℃なので、 $13 - 5 = 8$ で、8℃です。
- 2 ①最高気温が29℃なので、29℃を表せるようにいちばん上を30℃にします。  
②1月…9℃、2月…8℃、…と点を打ち、ものさしを使って点と点を直線で結びます。  
③かたむきがいちばん急なところでは、

**しあげの5分レッスン** 折れ線グラフの変わり方の見方や表し方を、もう1回かくにんしておこう。

びっぴり1 **じゃんび**

10 ページ

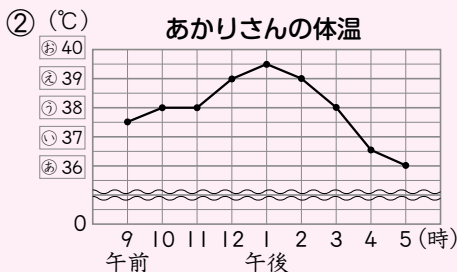
- 1 ①143 ②110 ③120 ④130 ⑤140 ⑥150 ⑦目もり

びっぴり2 **練習**

11 ページ

てびき

- 1 ①あ36 ②い37 ③う38 ④え39 ⑤お40



- ③目もりを省いたこと  
④午後3時から午後4時の間

- 1 ①36℃から39.5℃までを表せるようにします。たてのじくのいちばん大きい目もりは、39.5℃より高くなるようにとります。  
②たてのじくの1目もりは、0.5℃になります。

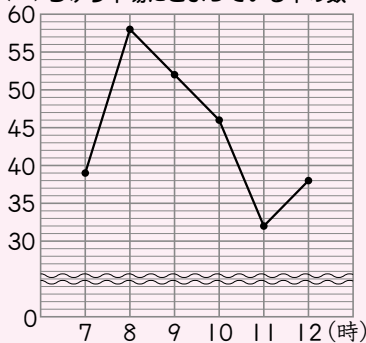
**しあげの5分レッスン** ~~~~~を使わないグラフと、~~~~~を使ったグラフでは、どのようなちがいがあるかをもう1回かくにんしよう。そして、どのようなときに~~~~~を使った方がよいかを理かいしておこう。

1 ①○ ②× ③○ ④× ⑤○

2 ①2℃ ②11月 ③5か月  
④月…8月、差…12℃

3 ①たて…台数、横…時こく  
②30 から 60

③ (台) ちゅう車場にとまっている車の数



あ0 い30 う60 え12 お台 か時

1 折れ線グラフは、ものの変っていくようすを表すのに便利で、もの大きさをくらべるには、ばうグラフが便利です。

2 ①目もりは、 $10 \div 5 = 2$ で、2℃です。  
②2つの折れ線グラフが交わっている月です。  
③井戸水の温度を表す折れ線が、気温を表す折れ線より上側にある月をさがすと、4月、12月、1月、2月、3月の5か月です。  
④2つの折れ線グラフの間がいちばん開いているところをさがして、差を求めます。  
8月で、 $28 - 16 = 12$ で、12℃です。

3 ②32台から58台が表せるように、目もりを考えます。

③あは台数、か時こくの単位です。

**おうちのがたへ** 棒グラフと折れ線グラフの違いを問い、折れ線グラフのよいところをわからせましょう。グラフの使い分けができるようになるとよいですね。

**しあげの5分レッスン** 折れ線グラフの読み方、かき方をもう1回かくにんしておこう。

### 3 わり算

1 (1)①3 ②3 ③2 (2)①2 ②2 ③16

2 ①8 ②2 ③2 ④20

1 ①ア2 ①6 ②ア4 ①3  
③30 ④2 ⑤9 ⑥2

2 ①ア3 ①3 ⑤2  
②ア8 ①4 ⑤4

3 ①20 ②10 ③40  
④200 ⑤200 ⑥500

1 わられる数とわる数に同じ数をかけたり、同じ数でわったりしても商は変わりません。

2 わる数を□倍すると、商は□でわった数になります。また、わられる数を□でわると、商も□でわった数になります。

3 何十のわり算は、10のまとまり、何百のわり算は、100のまとまりで考えます。

### 4 角

1 ア

2 2、4

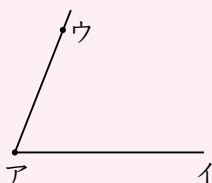
3 ア、アイ、120

- 1 ㉮→㉱→㉴→㉷
- 2 ①90 ②4
- 3 ①55° ②115°
- 4 ①40° ②140° ③200°
- 5 ㉴50° ①130° ㉷50°

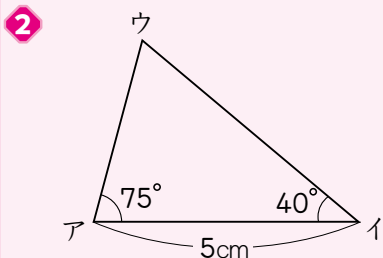
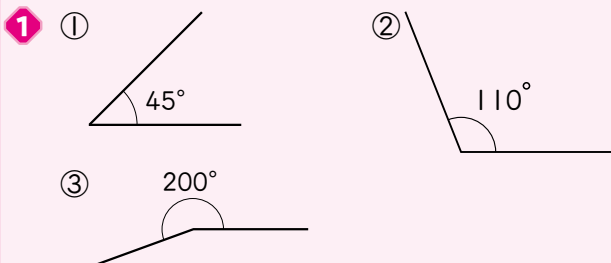
- 1 角の大きさは、<sup>へん</sup>辺の長さに関係なく、<sup>かんけい</sup>辺の開きぐあいであって決まります。
- 2 ②360°は90°(1直角)の4つ分なので、4直角です。
- 3 0°の線と重ねていないもう1つの辺と重なっている目もりを読みます。
- 4 ③2直角の角から開いた部分の角の大きさをはかり、 $180^\circ + 20^\circ = 200^\circ$ と求めます。  
また、下の角の大きさをはかって、 $360^\circ - 160^\circ = 200^\circ$ と求めてもよいです。
- 5 ㉴の角度と㉷の角度は50°で、①の角度は130°です。  
2本の直線が交わっているとき、向かい合った角は同じ大きさになります。

**あげの5分レッスン** 分度器の使い方を、もう1回かくにんしておこう。

- 1 0、70

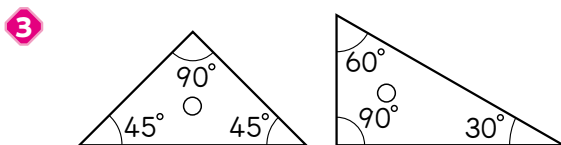


- 2 ①45 ②30 ③75 ④90 ⑤45 ⑥45 (①②は順不同)



- 3 ㉴135° ①30°

- 1 分度器の中心と角の<sup>ちようてん</sup>頂点、0°の線と角の1つの辺を合わせ、角をはかり、点を打って直線をかきます。
- ③180°より大きい分だけはかってかくか、1回転の角から小さい方の角をはかってかくかのどちらかでかきます。
- 2 ①長さ5cmの辺アイを引きます。  
②分度器の中心を点アに合わせて、75°の角をかきます。  
③分度器の中心を点イに合わせて、40°の角をかきます。交わった点を、点ウとします。

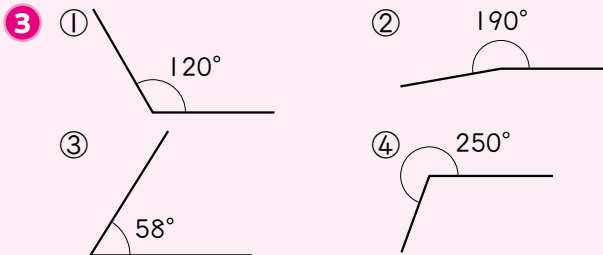


㉴  $90^\circ + 45^\circ = 135^\circ$   
①  $90^\circ - 60^\circ = 30^\circ$

**あげの5分レッスン** 角のかき方や三角形のかき方を、もう1回かくにんしておこう。また、三角じょうぎの角の大きさも、もう1回かくにんしておこう。

1 ①180 ②3

2 ①20° ②130° ③225° ④320°



4 ①ア120° ①60°  
②ウ85° ②65°

5 ア105° ①135° ④15° ⑤75°

6 40°

**おうちのがたへ** まず、長方形はどんな四角形だったかを思い出させましょう。次に、紙を折ると、折った部分と、折る前の部分は同じ形の三角形であることに気づかせましょう。このような問題ができると、算数をおもしろいと感じてくれるかもしれませんね。

1 | 直角=90°をもとに考えます。

①半回転の角は、2直角です。

2 ③④180°をこえた分をはかって、  
180°+45°、180°+140°として求めます。  
また、180°より大きい角なので、小さい方の角をはかって、360°-135°、360°-40°と求めてもよいです。

3 ②④180°より大きい角なので、180°より大きい分だけはかってかくか、1回転の角から小さい方の角をはかってかくかのどちらかでかきます。

4 ①2本の直線が交わっているとき、向かい合った角は同じ大きさになります。

アは、180°-60°=120°と求めます。

①は60°と向かい合っているので、60°です。

②3本の直線が交わっているときも、向かい合った角は同じ大きさになります。

ウは、180°-30°-65°=85°と求めます。

②は、65°の角と向かい合っているので、65°です。

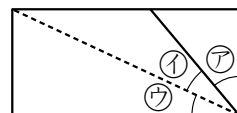
5 ア60°+45°=105°

①180°-45°=135°

④45°-30°=15°

⑤45°+30°=75°

6 折り目を広げると、右の図のようになるので、①と④はどちらも25°です。



ア+①+④=90°だから、アの角度は、90°-25°-25°=40°です。

## 5 (2けた)÷(1けた)の計算

1 14

2 12、12

1 ①18 ②18

1 答えがわられる数と同じ数になる九九を見つけましょう。

- 1 ①ア8 ①8 ウ16  
 ②ア7 ①7 ウ16  
 ③ア10 ①6 ウ10 エ6 オ16  
 ④ア16 ①2
- 2 ①ア3 ①24 ②ア24 ①3
- 3 ①27 ②18

- 1 わられる数を、わる数のだんの九九の答えになるように、2つに分けて計算します。  
 わり算のきまりを使うこともできます。
- 2 ②わる数を□でわると、商は□倍になります。
- 3 ①ブロックを $9 \times 9$ にならべて、3つに分けます。  
 ②ブロックを $9 \times 4$ にならべて、2つに分けます。

## 6 1けたでわるわり算

- 1 ①9 ②1 ③9 ④1
- 2 ①10 ②12 ③3 ④13 ⑤13

- 1 ① 
$$\begin{array}{r} 6 \\ 5 \overline{)34} \\ \underline{30} \\ 4 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 7 \\ 6 \overline{)45} \\ \underline{42} \\ 3 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 8 \\ 7 \overline{)56} \\ \underline{56} \\ 0 \end{array}$$
- 2 ① 
$$\begin{array}{r} 6 \\ 3 \overline{)19} \\ \underline{18} \\ 1 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 9 \\ 6 \overline{)54} \\ \underline{54} \\ 0 \end{array}$$
  
 $3 \times 6 + 1 = 19$        $6 \times 9 = 54$
- ③ 
$$\begin{array}{r} 5 \\ 8 \overline{)43} \\ \underline{40} \\ 3 \end{array}$$
 ④ 
$$\begin{array}{r} 9 \\ 9 \overline{)86} \\ \underline{81} \\ 5 \end{array}$$
  
 $8 \times 5 + 3 = 43$        $9 \times 9 + 5 = 86$
- 3 ①8、4、24  
 ②60、5、25

- 1 答えのたしかめをすると、次のようになります。  
 ① $5 \times 6 + 4 = 34$   
 ② $6 \times 7 + 3 = 45$   
 ③ $7 \times 8 = 56$
- 2 たしかめは、  
 わる数 $\times$ 商 $+$ あまり $=$ わられる数  
 にあてはめます。
- 3 ①48は $40 + 8$ です。  
 $40 \div 2$ と $8 \div 2$ に分けて計算します。  
 ②75は $60 + 15$ です。

**🕒 あげの5分レッスン** まちがえた計算は、もう1回やってみよう。

- 1 16、1
- 2 ①2 ②1 ③4 ④24
- 3 1

- 1 ① 
$$\begin{array}{r} 16 \\ 4 \overline{)64} \\ \underline{4} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 26 \\ 3 \overline{)78} \\ \underline{6} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 47 \\ 2 \overline{)94} \\ \underline{8} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 0 \end{array}$$

- 1 十の位がわり切れないときでも、わり算の筆算では、大きい位から順に計算できます。  
 商にたてる数は、あまりがわる数より小さくなるようにします。

② ① 
$$\begin{array}{r} 13 \\ 3 \overline{)41} \\ \underline{3} \\ 11 \\ \underline{9} \\ 2 \end{array}$$

$3 \times 13 + 2 = 41$

② 
$$\begin{array}{r} 15 \\ 4 \overline{)63} \\ \underline{4} \\ 23 \\ \underline{20} \\ 3 \end{array}$$

$4 \times 15 + 3 = 63$

③ 
$$\begin{array}{r} 12 \\ 6 \overline{)73} \\ \underline{6} \\ 13 \\ \underline{12} \\ 1 \end{array}$$

$6 \times 12 + 1 = 73$

④ 
$$\begin{array}{r} 11 \\ 7 \overline{)82} \\ \underline{7} \\ 12 \\ \underline{7} \\ 5 \end{array}$$

$7 \times 11 + 5 = 82$

③ ① 
$$\begin{array}{r} 23 \\ 2 \overline{)47} \\ \underline{4} \\ 7 \\ \underline{6} \\ 1 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 10 \\ 6 \overline{)62} \\ \underline{6} \\ 2 \\ \underline{0} \\ 2 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 30 \\ 3 \overline{)91} \\ \underline{9} \\ 1 \\ \underline{0} \\ 1 \end{array}$$

② たてる→かける→ひく→おろす  
をくり返します。

**おうちのがたへ** 計算が終わったら、答えのたしかめをするようにさせましょう。答えのたしかめで、計算のまちがいがなくせるとよいですね。

③ 十の位がわり切れるときの筆算です。  
ひくをしたあとの0は書かなくてもよいです。  
②③商の一の位の0をわすれないようにします。  
最後の計算は省いてもよいです。

**びんごり1 じゃんび** 28 ページ

- ① ① | ② 17 ③ 3 ④ 2  
② ① | ② 0 ③ 4 ④ 104  
③ ① 7 ② 78 ③ 2

**びんごり2 練習** 29 ページ

てびき

① ① 
$$\begin{array}{r} 432 \\ 2 \overline{)864} \\ \underline{8} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 145 \\ 3 \overline{)435} \\ \underline{3} \\ 13 \\ \underline{12} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 128 \\ 6 \overline{)772} \\ \underline{6} \\ 17 \\ \underline{12} \\ 52 \\ \underline{48} \\ 4 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 167 \\ 5 \overline{)837} \\ \underline{5} \\ 33 \\ \underline{30} \\ 37 \\ \underline{35} \\ 2 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 280 \\ 2 \overline{)560} \\ \underline{4} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 230 \\ 4 \overline{)923} \\ \underline{8} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 3 \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 305 \\ 3 \overline{)915} \\ \underline{9} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 105 \\ 5 \overline{)528} \\ \underline{5} \\ 28 \\ \underline{25} \\ 3 \end{array}$$

① わられる数が3けたでも、これまでと同じように筆算できます。  
たてる→かける→ひく→おろす  
をくり返します。  
⑤と中でわり切れます。一の位には0を書きます。  
⑥一の位は、 $3 \div 4$ となるので、0をたてます。  
⑦⑧商の十の位が0なので、計算を省いています。

① 
$$\begin{array}{r} 76 \\ 3 \overline{) 228} \\ \underline{21} \phantom{0} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 83 \\ 4 \overline{) 332} \\ \underline{32} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 54 \\ 9 \overline{) 486} \\ \underline{45} \phantom{0} \\ 36 \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 67 \\ 5 \overline{) 337} \\ \underline{30} \phantom{0} \\ 37 \\ \underline{35} \\ 2 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 58 \\ 8 \overline{) 468} \\ \underline{40} \phantom{0} \\ 68 \\ \underline{64} \\ 4 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 92 \\ 7 \overline{) 647} \\ \underline{63} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{14} \\ 3 \end{array}$$

② 百の位に商がたたないときは、十の位からたてて、計算を始めます。

びっぴり 3 たしかめのテスト

30~31 ページ

てびき

① ①51 ②12  
③㊦4 ①3

② ① 
$$\begin{array}{r} 7 \\ 6 \overline{) 47} \\ \underline{42} \\ 5 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 24 \\ 4 \overline{) 96} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 27 \\ 3 \overline{) 81} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 21 \\ \underline{21} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 13 \\ 5 \overline{) 67} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{15} \\ 2 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 10 \\ 7 \overline{) 74} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 4 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 214 \\ 2 \overline{) 428} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 2 \\ \underline{2} \\ 8 \\ \underline{8} \\ 0 \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 199 \\ 2 \overline{) 398} \\ \underline{2} \phantom{0} \\ 19 \\ \underline{18} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 109 \\ 6 \overline{) 657} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 57 \\ \underline{54} \\ 3 \end{array}$$

⑨ 
$$\begin{array}{r} 180 \\ 4 \overline{) 721} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 1 \end{array}$$

③ ① 
$$\begin{array}{r} 64 \\ 9 \overline{) 576} \\ \underline{54} \phantom{0} \\ 36 \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 37 \\ 8 \overline{) 301} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 61 \\ \underline{56} \\ 5 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 40 \\ 7 \overline{) 283} \\ \underline{28} \phantom{0} \\ 3 \end{array}$$

② たてる→かける→ひく→おろす  
をくり返します。  
⑤⑧⑨0のあつかいには気をつけましょう。

③ (3けた)÷(1けた)の商が2けたになる計算の筆算です。  
商を十の位からたてて計算します。  
③商の一の位に注意しましょう。

$$\begin{array}{r} 4 \text{ ①} \quad 12 \\ 8 \overline{) 97} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 17 \\ \underline{16} \\ 1 \end{array}$$

たしかめ

$$8 \times 12 + 1 = 97$$

$$\begin{array}{r} 4 \text{ ②} \quad 106 \\ 5 \overline{) 534} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 34 \\ \underline{30} \\ 4 \end{array}$$

たしかめ

$$5 \times 106 + 4 = 534$$

5 式  $114 \div 3 = 38$  答え 38まい

6 式  $158 \div 6 = 26$  あまり 2  
 答え 26 ふくろできて、2こあまる

4 ①あまりの9がわる数の8より大きいから、一の位にたてた商がちがいます。

②十の位に0をたてるのをわすれています。  
 $5 \times 0 = 0$ 、 $3 - 0 = 3$ の計算は省きます。

6 <sup>もと</sup>求めているものは、いくつ分とあまりです。

## 7 しりょうの整理

### ぴったり1 じゃんび 32 ページ

- 1 すりきず
- 2 3、好き

### ぴったり2 練習 33 ページ

- 1 ①アT イ2 ウ6 エT オ2  
 カ6 キ6 ク5 ケ24  
 ②黒色のタクシー
- 2 ①24人 ②4人 ③35人

**しあげの5分レッスン** しりょうを表にまとめるときには、落ちや重なりがないようにしなければなりません。落ちや重なりがないか、たしかめるようにしよう。

てびき

- 1 数を数えるときは、正の字を書いて数えます。  
 ケのらんは、たての合計と横の合計を計算して、同じ数にならないといけない。
- 2 ①一輪車いちりんしゃに乗れて、竹馬ができる人、できない人の両方を合わせた数です。  
 ②竹馬ができて、一輪車に乗れない人です。  
 ③全部の人数をたします。

### ぴったり3 たしかめのテスト 34~35 ページ

- 1 ①ア5 イ12 ウ5 エ8 オ57  
 ②3人  
 ③運動場で切りきずをした人  
 ④階段でけがをした人  
 ⑤すりきず  
 ⑥運動場  
 ⑦57人
- 2 ①8 ②9 ③1 ④9 ⑤10
- 3 ①5人 ②3人 ③8人

**おうちのがたへ** 資料をわかりやすく整理して、その資料の特徴を調べることは、とても大切なことです。特徴を自ら見つけ出すことで、統計の学習に興味をもつとよいですね。

**しあげの5分レッスン** 表のまとめ方、表の見方をもう1回たしかめておこう。

てびき

- 1 ①オは、たての合計と横の合計を計算して、同じ数にならないといけない。
- 2 数がわかっているらんが2つあるところから計算していきます。  
 $① = 25 - 17$      $② = 26 - 17$   
 $④ = 35 - 26$      $③ = ④ - ①$   
 $⑤ = 35 - 25$  または  $⑤ = ② + ③$
- 3 ③次の表の      のところに、平泳ぎができない人が入っています。  
 合計8人です。

平泳ぎとクロール調べ (人)

		クロール		合計
		できる	できない	
平泳ぎ	できる	16	8	24
	できない	5	3	8
合計		21	11	32

## 8 2けたでわるわり算

### びっぴり1 じゃんび

36 ページ

1 ①3 ②3 ③10

2 ①224 ②196 ③168 ④168 ⑤7

### びっぴり2 練習

37 ページ

てびき

1 ①2 ②5 ③3 ④1あまり40

⑤8あまり30 ⑥6あまり10

2 ① 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 23 \overline{)69} \\ \underline{69} \\ 0 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 24 \overline{)78} \\ \underline{72} \\ 6 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 16 \overline{)48} \\ \underline{48} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 6 \\ 14 \overline{)84} \\ \underline{84} \\ 0 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 28 \overline{)92} \\ \underline{84} \\ 8 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 5 \\ 17 \overline{)86} \\ \underline{85} \\ 1 \end{array}$$

3 ① 
$$\begin{array}{r} 7 \\ 34 \overline{)238} \\ \underline{238} \\ 0 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 8 \\ 17 \overline{)147} \\ \underline{136} \\ 11 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 9 \\ 25 \overline{)235} \\ \underline{225} \\ 10 \end{array}$$

1 10のまとまりで考えます。

①  $8 \div 4$  と考えます。

④  $9 \div 5$  と考えます。 $9 \div 5 = 1$  あまり4ですが、あまりは10をもとにした数で40になります。

2 ①  $60 \div 20$  と考えて  $6 \div 2$  でかりの商をたてます。

③  $40 \div 10$  と考えて、 $4 \div 1$  でかりの商をたてます。

かりの商が大きすぎたら、商を1ずつ小さくして計算します。

3 ②  $140 \div 10$  と考えると、かりの商が9より大きくなるので、かりの商を9にして計算します。かりの商が大きすぎたら、商を1ずつ小さくして計算します。

### びっぴり1 じゃんび

38 ページ

1 ①2 ②27 ③27 ④11

2 ①3 ②654 ③3

### びっぴり2 練習

39 ページ

てびき

1 ① 
$$\begin{array}{r} 24 \\ 19 \overline{)456} \\ \underline{38} \\ 76 \\ \underline{76} \\ 0 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 25 \\ 38 \overline{)950} \\ \underline{76} \\ 190 \\ \underline{190} \\ 0 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 20 \\ 24 \overline{)502} \\ \underline{48} \\ 22 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 23 \\ 34 \overline{)782} \\ \underline{68} \\ 102 \\ \underline{102} \\ 0 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 18 \\ 36 \overline{)675} \\ \underline{36} \\ 315 \\ \underline{288} \\ 27 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 10 \\ 16 \overline{)173} \\ \underline{16} \\ 13 \end{array}$$

2 ① 
$$\begin{array}{r} 20 \\ 23 \overline{)468} \\ \underline{46} \\ 8 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 15 \\ 49 \overline{)735} \\ \underline{49} \\ 245 \\ \underline{245} \\ 0 \end{array}$$

1 商が何の位くらいからたつかを考えて、かりの商をたてます。

③22の中に24はないので、商の一の位に0がたちます。

2 ①商の一の位に0を書きわすれています。

②  $73 - 49 = 24$  なので、商の一の位に5をたてて計算できます。

③ ① 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 312 \overline{) 936} \\ \underline{936} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 4 \\ 173 \overline{) 692} \\ \underline{692} \\ 0 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 264 \overline{) 835} \\ \underline{792} \\ 43 \end{array}$$

- ③ 3けたでわるわり算も、2けたでわるわり算と同じように計算できます。
- ②  $600 \div 100$  と考えて、 $6 \div 1$  でかりの商をたてます。
- かりの商が大きすぎたら、商を1ずつ小さくしていきます。

**びんり1 じゃんび** 40 ページ

- ① ①200 ②600 ③200
- ② ①全部の数 ②1つ分数 ③16 ④16

**びんり2 練習** 41 ページ

① ① 
$$\begin{array}{r} 70 \\ 50 \overline{) 3500} \\ \underline{35} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 90 \\ 300 \overline{) 27000} \\ \underline{27} \\ 0 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 6 \\ 700 \overline{) 4600} \\ \underline{42} \\ 400 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 8 \\ 800 \overline{) 6600} \\ \underline{64} \\ 200 \end{array}$$

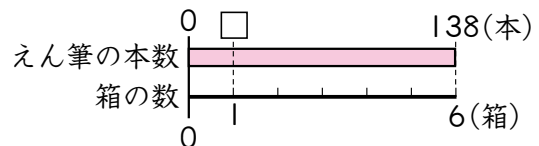
⑤ 
$$\begin{array}{r} 72 \\ 40 \overline{) 2900} \\ \underline{28} \\ 10 \\ \underline{8} \\ 20 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 64 \\ 90 \overline{) 5800} \\ \underline{54} \\ 40 \\ \underline{36} \\ 40 \end{array}$$

- ② ①全部の数、1つ分数  
②いくつ分(人数)  
③  $135 \div 15 = 9$  答え 9人  
③  $138 \div 6 = 23$  答え 23本

**てびき**

- ① わられる数とわる数のおわりに0があるわり算なので、それぞれの0を同じ数だけ消して計算できます。
- 0を消して計算したわり算で、あまりを求めるときには、あまりに0を消した分だけ0をつけたします。
- ②  $\text{いくつ分} = \text{全部の数} \div \text{1つ分数}$  で、全部の数は135、1つ分数は15です。
- ③ わかっているものは、全部の数といくつ分です。求めるものは1つ分数です。



**しるべいの5分レッスン** 答えのたしかめをすると、まちがいが少なくなります。まちがった計算だけでなく、すべての計算の答えのたしかめをしてみよう。

**びんり3 たしかめのテスト** 42~43 ページ

① ①十の位 ②88、26 ③104

② ① 
$$\begin{array}{r} 2 \\ 17 \overline{) 34} \\ \underline{34} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 28 \overline{) 86} \\ \underline{84} \\ 2 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 4 \\ 56 \overline{) 239} \\ \underline{224} \\ 15 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 9 \\ 68 \overline{) 612} \\ \underline{612} \\ 0 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 24 \\ 39 \overline{) 936} \\ \underline{78} \\ 156 \\ \underline{156} \\ 0 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 11 \\ 73 \overline{) 805} \\ \underline{73} \\ 75 \\ \underline{73} \\ 2 \end{array}$$

- ① 筆算は右のようになります。
- $$\begin{array}{r} 34 \\ 26 \overline{) 884} \\ \underline{78} \\ 104 \\ \underline{104} \\ 0 \end{array}$$
- ② かりの商が大きすぎたら、商を1ずつ小さくして計算します。
- ③ 3けたでわるわり算も、2けたでわるわり算と同じようにして計算できます。

$$\begin{array}{r} \textcircled{7} \quad 24 \\ 34 \overline{) 846} \\ \underline{68} \\ 166 \\ \underline{136} \\ 30 \end{array} \quad \begin{array}{r} \textcircled{8} \quad 10 \\ 28 \overline{) 299} \\ \underline{28} \\ 19 \end{array} \quad \begin{array}{r} \textcircled{9} \quad 3 \\ 232 \overline{) 715} \\ \underline{696} \\ 19 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{10} \quad 6 \\ 400 \overline{) 2700} \\ \underline{24} \\ 300 \end{array} \quad \begin{array}{r} \textcircled{11} \quad 92 \\ 70 \overline{) 6500} \\ \underline{63} \\ 20 \\ \underline{14} \\ 60 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{12} \quad 95 \\ 600 \overline{) 57000} \\ \underline{54} \\ 30 \\ \underline{30} \\ 0 \end{array}$$

- 3** 式  $197 \div 55 = 3$  あまり 32  
 $3 + 1 = 4$  答え 4台
- 4** 式  $244 \div 23 = 10$  あまり 14  
 答え 10本になって、14本あまる。
- 5** 式  $54 \times 15 + 4 = 814$   
 $814 \div 45 = 18$  あまり 4  
 答え 18あまり4

### はっけん

- 1) **あ**9 **い**2 **う**52

**しあげの5分レッスン** まちがえた計算をもう1回やってみよう。

- 3** 55人ずつ3台のバスに乗ると、あまった32人が乗れませんから、32人を乗せるバスがもう1台いることになります。
- 4** えん筆の本数を人数でわって求めます。
- 5** まず、わり算のたしかめの式  
 わられる数 = わる数  $\times$  商 + あまり  
 にあてはめて、ある数を求めます。  
 次に、正しく計算して答えを出します。

**おうちのみなへ** 「式は1つではないね」などとアドバイスしましょう。式は「ある数を求める式」と「正しい計算」の2つになります。少し難しい問題ですが、このような問題ができるとういですね。

- 1) まず、十の位に5をたて、 $18 \times 5$ の90を書きます。  
 ひく→おろすをして、  
 次に一の位に2をたて、 $18 \times 2$ の36を書きます。  
 ひいた7があまりになります。

$$\begin{array}{r} 943 \overline{) 18} \\ 18 \times 5 \rightarrow \underline{90} \quad 52 \\ \underline{43} \\ 18 \times 2 \rightarrow \underline{36} \\ 7 \end{array}$$

## 倍の計算(1)

どれだけとんだか考えよう

44~45 ページ

てびき

- ☆** ①  $284 \div 142 = 2$  答え 2倍  
 ② 2
- ☆**  $130 \times 2 = 260$  答え 260 cm
- ☆**  $5\text{m } 10\text{cm} = 510\text{cm}$   
 $510 \div 170 = 3$  答え 3倍

- 1** とんだ長さは、身長のおいくつ分になっているかを求めます。
- 2** 身長  $\times 2$  で求められます。
- 3** 単位を cm にそろえます。  
 とんだ長さ  $\div$  身長で求められます。

- 4  $12\text{ m} = 1200\text{ cm}$   
 $1200 \div 80 = 15$                       答え 15 cm
- 5 ①  $6 \times 30 = 180$   
 $180\text{ cm} = 1\text{ m } 80\text{ cm}$     答え 1 m 80 cm  
 ② 1 m 80 cm

- 4 とんだ長さは体長の80倍なので、体長は  
 とんだ長さ  $\div 80$  で求められます。
- 5 体長  $\times 30$  で求められます。  
 答えは何 m 何 cm にします。

**おうちのみなへ** 2つの数量の関係がよくわからないときは、図や表を用いて考えさせるようにしましょう。何倍になっているかを考える問題は、5年生で詳しく学習する割合につながっていきます。つまり、かずにわかるようにしたいですね。

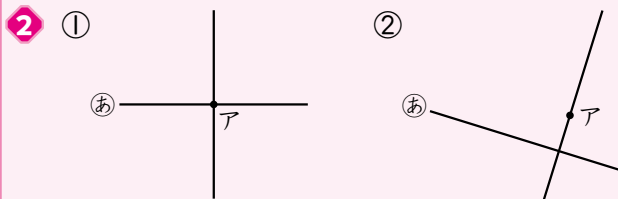
## 9 すいちよく 垂直・平行と四角形

### びったり1 じゃんび 46 ページ

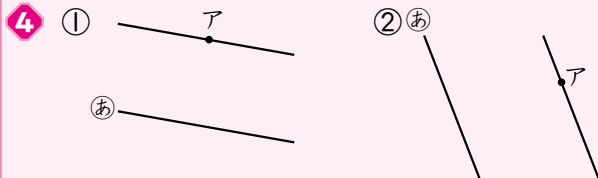
- 1 直角、あ  
 2 あ

### びったり2 練習 47 ページ

- 1 あ、う、お



- 3 ア  $80^\circ$     イ  $100^\circ$     ウ  $80^\circ$



- 1 三角じょうぎの直角の角をあてて、調べます。  
 2本の直線が交わっていないときは、直線をのばして、垂直に交わるかを調べます。
- 2 ぶんどき 分度器や三角じょうぎを使って、点アを通る垂直な直線をかきます。
- 3 平行な2本の直線は、ほかの直線と同じ角度で交わります。また、2本の直線が交わってできた角で、向かい合った角は同じ大きさになります。
- 4 三角じょうぎの1つの辺を直線あに重ね、もう1まいの三角じょうぎを合わせ、直線あに重ねた三角じょうぎを動かして、点アを通る平行な直線を引きます。

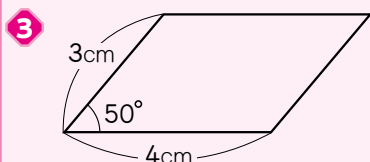
### びったり1 じゃんび 48 ページ

- 1 ① 9    ② 11    ③ 130    ④ 50  
 2 (1) 等しく (2) 70

### びったり2 練習 49 ページ

- 1 台形…う、え、お  
へいこうし へんけい  
 平行四辺形…か、く

- 2 ① 角C… $105^\circ$     角D… $75^\circ$   
 ② 辺AD…8 cm    辺CD…5 cm



- 1 向かい合った1組の辺が平行な四角形が台形、向かい合った2組の辺がそれぞれ平行な四角形が平行四辺形です。
- 2 平行四辺形は、向かい合った辺の長さや、向かい合った角の大きさが、それぞれ等しくなります。
- 3 平行四辺形のせいしつりょうを利用して、三角じょうぎやコンパス、分度器を使ってかきます。

4 ①7cm ②60° ③120°

4 ひし形は、4つの辺の長さがみな等しい四角形で、向かい合った角の大きさも等しいです。

ぴっぴり1 じゃんび

50 ページ

1 ①○ ②× ③○ ④× ⑤○

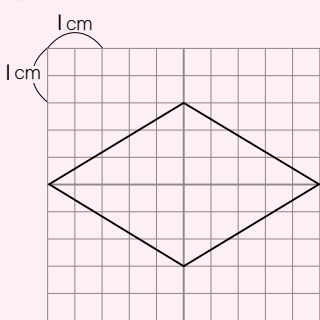
2 長方形

ぴっぴり2 練習

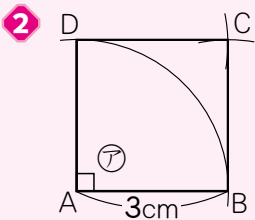
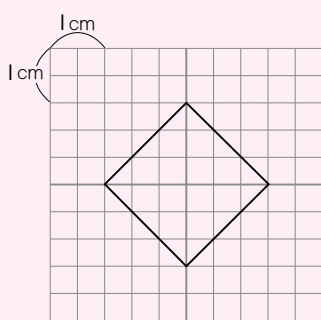
51 ページ

てびき

1 ①(例)

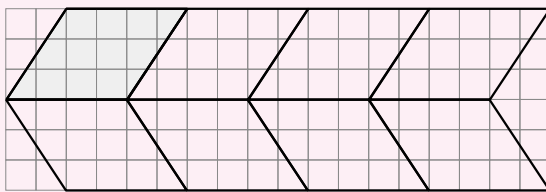


②(例)



正方形

3 (例)



1 ①ひし形は、2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で、垂直に交わります。

②正方形は、2本の対角線の長さが等しく、それぞれの真ん中の点で、垂直に交わります。

2 ①の角を90°にすると、4つの角はすべて90°になります。

4つの辺の長さがみな等しく、4つの角がみな直角なので、正方形がかけます。

3 すきまができないように、方がんのます目を数えながらかきます。

いろいろなしきつめ方を考えてみましょう。

**あげの5分レッスン** 四角形の対角線のせいしつをもう1回かくにんしておこう。そして、対角線のせいしつを利用して、四角形がかけられるようにしよう。

ぴっぴり3 たしかめのテスト

52~53 ページ

てびき

1 ①平行…直線工カ、垂直…直線オウ

②平行…直線オカ、

垂直…直線オ工、直線イウ(カウ、イカでもよい) (順不同)

2 ①ア、イ、ウ、エ

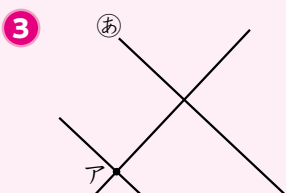
②オ

③ア、エ

④ア、イ

⑤ア、イ

⑥ア、エ



4 辺あ…4cm、角ア…60°

辺い…5cm、角い…130°

1 三角じょうぎを使って調べます。

直線の記号は、順番がぎゃくになっていてもかまいません。(たとえば、エカをカエとしてもかまいません。)

2 ④正方形と長方形は、4つの角がみな直角である四角形です。

⑤正方形と長方形は、2本の対角線の長さが等しい四角形です。

⑥正方形とひし形は、2本の対角線が垂直に交わる四角形です。

3 2まいの三角じょうぎを使ってかきましょう。

4 平行四辺形では、向かい合った辺の長さや、向かい合った角の大きさはそれぞれ等しくなっています。

また、ひし形では、4つの辺の長さや、向かい合った角の大きさはそれぞれ等しくなっています。

- 5 ①ひし形  
②辺ABの長さを4cm、角Bの大きさを90°にする。

- 5 ①4つの辺の長さはすべて3cmになります。  
②1辺が4cmの正方形にします。  
このように考えると、正方形やひし形は、平行四辺形の特別な形であるといえます。

ぼんぼん

- 1 ア平行四辺形 ①長方形 ㊦正方形

**おうちのカタへ** 四角形のそれぞれの形や性質を覚えることはとても大切なことですが、それら比べて、関係を考えることは、図形を学習していくうえで、もっと大切になっていきます。理解できたらよいですね。

- 1 台形は1組の辺が平行な四角形、平行四辺形は2組の辺がそれぞれ平行な四角形です。  
長方形は平行四辺形の特別な形(4つの角がみな直角の平行四辺形)、ひし形も平行四辺形の特別な形(4つの辺がみな等しい平行四辺形)とみることができます。  
そして、正方形は、長方形とひし形の特別な形(4つの辺がみな等しく、4つの角がみな直角の平行四辺形)とみることができます。

 **倍の計算(2) ~かんたんな割合~** わりあい

**くらべ方を考えよう** 54~55 ページ

**てびき**

- ★ ゴムあ  $120 - 40 = 80$       答え 80 cm  
 ゴムい  $160 - 80 = 80$       答え 80 cm
- ★ ゴムあ  $120 \div 40 = 3$               答え 3倍  
 ゴムい  $160 \div 80 = 2$               答え 2倍
- ★ ゴムう  $150 \div 30 = 5$   
 ゴムえ  $150 \div 50 = 3$   
 答え ゴムう
- ★ ばねあ  $45 \div 15 = 3$   
 ばねい  $40 \div 10 = 4$   
 答え ばねい

- ★ のびたあとの長さーもとの長さの式で求めます。  
 どちらも80cmのびているので、差でくらべると、同じだけのびたといえます。
- ★ のびたあとの長さ÷もとの長さの式で求めます。  
 ゴムあは3倍、ゴムいには2倍にのびているので、倍でくらべると、ゴムあの方がのびているといえます。
- ★ ゴムうは5倍、ゴムえは3倍にのびるので、ゴムうの方がのびるといえます。
- ★ 同じ重さのおもりをつるしたとき、ばねあは3倍、ばねいは4倍にのびるので、ばねいの方がよくのびるといえます。

**おうちのカタへ** くらべ方を学習する問題です。★では「倍」でくらべましたが「差」でくらべると、同じ長さだけのびています。何をくらべるかで結論が変わることがあります。どのようにしてくらべるのが最もよいかかわかるようになりますよ。

**10 がい数**

**びったり1 じゃんび** 56 ページ

- 1 ①4 ②14000 ③5 ④15000  
 2 ①3 ②8900  
 3 ①450 ②549 ③450 ④550

**びったり2 練習** 57 ページ

**てびき**

- 1 ①6000 ②84000 ③60000 ④490000
- 1 がい数にする位の1つ下の位を四捨五入します。

- 2 ①上から1けた 3000  
上から2けた 3200  
②上から1けた 60000  
上から2けた 56000  
③上から1けた 700000  
上から2けた 750000
- 3 2500以上 3500未満

- 2 ①上から1けたのがい数にするには、2けた目の2を、上から2けたのがい数にするには、3けた目の4を、それぞれ四捨五入します。

- 3 千の位までのがい数なので、百の位を四捨五入します。  
百の位が5だと千の位の数は1大きくなるので、3000より小さい数は25□□と表されます。この中で、いちばん小さい数は2500です。  
3500だと四捨五入すると4000になるので、いちばん大きい数は3499で、3500未満と表されます。

**🎯しあげの5分レッスン** 四捨五入する位をまちがえないようにしよう。がい数にするすぐ下の位を四捨五入するよ。

**びっぴり1 じゃんび**

58 ページ

- 1 (1)4900  
(2)23、80500
- 2 570000
- 3 47、6、3600
- 4 30000

**びっぴり2 練習**

59 ページ

てびき

- 1 599
- 2 ①3100 ②18000 ③80000  
④450000
- 3 ①3000 ②16000 ③70000  
④725000
- 4 8箱

- 1 100にたりない数を0にして500になる数のうち、いちばん大きい数は、100にたりない数が99の数です。
- 2 上から3けた目から下の数を0にするので、①56を0に、②390を0に、③943を0に、④8072を0にします。
- 3 ①649を1000と考えるので、千の位の数2を3にします。  
③105を1000と考えるので、千の位の数9を1大きくします。  
0になって一万の位に、1くり上がります。
- 4 7箱だと700このたまごしか入りません。残った58こも箱に入れなければならないので、100こにたりない58を100とみて切り上げて、800このたまごを入れる箱を考えます。  
800このたまごを入れるには、8箱必要です。

**🎯しあげの5分レッスン** 四捨五入と、切り捨て・切り上げのちがいを、もう1回かくにんしておこう。

**びっぴり1 じゃんび**

60 ページ

- 1 (1)①3000 ②5000 ③8000 ④8000  
(2)①3500 ②4800 ③1300 ④1300
- 2 4000、240000

① ①約 5000 円 ②約 800 円

② ①30000 ②60000

③ ①100 ②30

④ 約 5000 円

**家 おうちのがたへ** 身近な場面で、買い物代金の見積もりなどをしてみましょう。がい数の計算が好きになるとよいですね。

① ①千の位までのがい数にするので、百の位を四捨五入して計算します。

$$2000 + 2000 + 1000 = 5000$$

②百の位までのがい数にします。

つよしさんは 2100 円、ゆかりさんは 1250 円 → 1300 円で、差を求めます。

$$2100 - 1300 = 800$$

② ①281 → 300、125 → 100 とがい数にして、積を見積もります。

$$300 \times 100 = 30000$$

②3481 → 3000、18 → 20 とがい数にして、積を見積もります。

$$3000 \times 20 = 60000$$

③ ①4268 → 4000、35 → 40 とがい数にして、商を見積もります。

$$4000 \div 40 = 100$$

②9107 → 9000、328 → 300 とがい数にして、商を見積もります。

$$9000 \div 300 = 30$$

④ 百の位を切り上げて、千の位までのがい数にしてからたし算します。

$$680 \rightarrow 1000, 2570 \rightarrow 3000, 840 \rightarrow 1000$$

$$1000 + 3000 + 1000 = 5000$$

① いちばん小さい数…20500  
いちばん大きい数…21499

② ①7700 ②39000 ③90000  
④79900000

① 千の位までのがい数で表すので、百の位を四捨五入します。

百の位が5のときは、切り上げて千の位の数が1大きくなるので、21000 より小さい数は 205□□ の形で表されます。

また、百の位が4のときは、百の位から下を切り捨てるので、21000 より大きい数は 214□□ の形で表されます。

これらの中でいちばん小さい数、いちばん大きい数がどうなるかを考えます。

② [ ] 中の位の1つ下の位を四捨五入します。

①十の位は5なので、切り上げて百の位を7にします。

②百の位は1なので、百の位から下を切り捨てます。

④千の位は5なので、切り上げて一万の位を1大きくします。

上から4けたの 7989 を 7990 にします。

3 ①6300000 ②20000000

4 ①切り捨て…730000

切り上げ…800000

②切り捨て…1800000

切り上げ…2000000

5 ①4200000 ②18

6 式  $100+300+300+200=900$

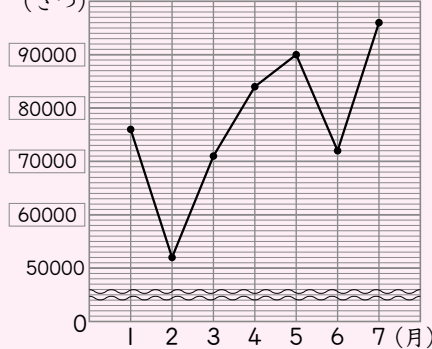
答え 約900円

7 式  $200000 \div 200 = 1000$

答え 約1000倍

8 ①(上から) 76000、52000、71000、  
84000、90000、72000、96000

② (さつ) 図書館でかじ出された本のさつ数



3 上から3けた目を四捨五入します。

4 切り捨ては、上から3けた目から下を切り捨てます。  
切り上げは、上から2けた目を切り上げます。

5 上から1けたのがい数にして、計算します。

①  $600 \times 7000$

②  $9000 \div 500$  のわられる数とわる数をそれぞれ100でわって、 $90 \div 5$  を計算します。

6 それぞれを切り上げて百の位までのがい数にすると、 $95 \rightarrow 100$ 、 $278 \rightarrow 300$ 、 $298 \rightarrow 300$ 、 $148 \rightarrow 200$  となります。

8 ①百の位を四捨五入します。

②いちばん大きい数96000を表せるように、いちばん上の□の目もりを90000にします。  
1目もりは1000さつになります。

がい数にしたさつ数を点で打ち、直線で結びます。

**おうちのかなへ** 数の大きい資料をグラフにするときは、1目盛を大きい数にして、概数を使ってかくとよいことをわかせましょう。住んでいるところの小学生や人の数の年ごとの変化などを調べて、概数を使ってグラフにしてみるのもよいかもしれませんね。

## 11 式と計算

ぴったりに1 **じゃんび**

64 ページ

1 ①出したお金 ②200 ③40 ④200 ⑤40 ⑥160 ⑦840 ⑧840

2 3、21、21

ぴったりに2 **練習**

65 ページ

てびき

1 式  $1000 - (580 + 180) = 240$   
答え 240円

2 式  $80 \times 6 + 90 \times 6 = 1020$   
または、 $(80 + 90) \times 6 = 1020$   
答え 1020円

3 ①80 ②52 ③39 ④20 ⑤8 ⑥3  
⑦43 ⑧44

1 買った本とノートの代金の合計を、( )を使って先に計算します。式は、  
 $1000 - 580 - 180 = 240$  としてもよいです。

2 えん筆と消しゴムの金かくをそれぞれ求めてたし算します。  
えん筆 | 本と消しゴム | こを | 組にして計算してもよいです。

3 式は、左から順に計算しますが、( )のある式では、( )の中を先に計算します。  
十、一、×、÷のまじった式では、かけ算やわり算を先に計算します。

- 1 (1)①82 ②100 ③113 (2)①25 ②1600  
 2 (1)①7 ②13 ③20 ④60 (2)①200 ②200 ③600 ④591

- 1 ①49 ②9 ③32 ④25 ⑤18 ⑥5

- 2 ①115 ②72 ③320 ④894

- 3 ①あ4 い3 う40 え70  
 ②あ3 い7 う70

- 1 ①たされる数とたす数を入れかえても、和は変わ  
 りません。

$$\square + \triangle = \triangle + \square$$

- ②かけられる数とかける数を入れかえても、積は  
 変わりません。

$$\square \times \triangle = \triangle \times \square$$

- ③3つの数をたすとき、たす順じよをかえても、  
 和は変わりません。

$$(\square + \triangle) + \circ = \square + (\triangle + \circ)$$

- ④3つの数をかけるとき、かける順じよをかえて  
 も、積は変わりません。

$$(\square \times \triangle) \times \circ = \square \times (\triangle \times \circ)$$

$$\textcircled{5} (\square + \triangle) \times \circ = \square \times \circ + \triangle \times \circ$$

$$\textcircled{6} (\square - \triangle) \times \circ = \square \times \circ - \triangle \times \circ$$

- 2 計算のきまりを使ってくふうすると、計算がしや  
 すくなります。

$$\textcircled{1} 15 + 46 + 54 = 15 + (46 + 54) = 115$$

$$\textcircled{2} 19 \times 12 - 13 \times 12 = (19 - 13) \times 12 = 72$$

$$\textcircled{3} 64 \times 5 = (32 \times 2) \times 5 = 32 \times (2 \times 5) \\ = 32 \times 10 = 320$$

$$\textcircled{4} 298 \times 3 = (300 - 2) \times 3 = 300 \times 3 - 2 \times 3 \\ = 900 - 6 = 894$$

- 3 ①上はたて4まい、横10まい、下はたて3まい、  
 横10まいでなっています。

- ②2まいの切手シートをつなげると、たて7まい、  
 横10まいになります。

- 1 (1)2、2 (2)3、3  
 2 (1)3598、102800、137238  
 (2)①5 ②52 ③425 ④170 ⑤80

- 1 □倍、□でわった数

- 2 ①3 ②3 ③4 ④4 ⑤わる ⑥積

- 1 かけ算では、かけられる数と積の間にも、かける  
 数と積の間にあるきまりと同じきまりがあります。

- 2 かけ算では、かけられる数、かける数の2つと、  
 その積との間にも、きまりがあることがわかりま  
 す。

③ ① 
$$\begin{array}{r} 4629 \\ +5175 \\ \hline 9804 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 7014 \\ -5846 \\ \hline 1168 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 5196 \\ +86734 \\ \hline 91930 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 45032 \\ -6978 \\ \hline 38054 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 254 \\ \times 637 \\ \hline 1778 \\ 762 \\ \hline 1524 \\ \hline 161798 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 67 \\ 93 \overline{)6231} \\ \underline{558} \\ 651 \\ \underline{651} \\ 0 \end{array}$$

- ③ けたが多くなっても、これまでと同じように位ごとに計算します。
- ③④ 右にそろえてたてにならべます。一の位どうしを上下にそろえます。
- ⑤  $254 \times 7$ 、 $254 \times 30$ 、 $254 \times 600$  と、順に計算して合わせます。
- ⑥ 商は、十の位からたちます。  
たてる → かける → ひく → おろす をくり返します。

**しるしの5分レッスン** かけ算やわり算のきまりは、計算をかん単にできるなど、知っているるととても便利です。理かいしておこう。

びっぴり 3 たしかめのテスト 70~71 ページ

てびき

- ① ①120、30 ②37、185 ③28、7  
④5、37

- ② ①123 ②3 ③5 ④70

- ③ ①400 ②700 ③582 ④230

- ④ ①51460 ②56183 ③178602  
④76

- ⑤ 式  $2000 - (980 + 180) = 840$   
答え 840円

- ⑥ 式  $180 - 3 \times 36 = 72$  答え 72まい

- ① ①②③( )の中を先に計算します。  
④わり算を先に計算します。

- ② ①  $15 \times (6 + 3) - 12 = 15 \times 9 - 12$   
 $= 135 - 12 = 123$

②  $15 - 30 \div 5 \times 2 = 15 - 6 \times 2$   
 $= 15 - 12 = 3$

④  $80 - 40 \div (12 - 8) = 80 - 40 \div 4$   
 $= 80 - 10 = 70$

- ③ ①  $68 \times 4 + 32 \times 4 = (68 + 32) \times 4$   
 $= 100 \times 4 = 400$

②  $7 \times 4 \times 25 = 7 \times (4 \times 25)$   
 $= 7 \times 100 = 700$

③  $97 \times 6 = (100 - 3) \times 6 = 100 \times 6 - 3 \times 6$   
 $= 600 - 18 = 582$

④  $46 \times 5 = 23 \times 2 \times 5 = 23 \times (2 \times 5)$   
 $= 23 \times 10 = 230$

④ ① 
$$\begin{array}{r} 7851 \\ +43609 \\ \hline 51460 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 62009 \\ -5826 \\ \hline 56183 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 578 \\ \times 309 \\ \hline 5202 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 76 \\ 53 \overline{)4028} \\ \underline{371} \\ 318 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1734 \\ \hline 178602 \\ \hline 0 \end{array}$$

- ⑤ 本とボールペンの代金の合計を、( )を使って先に計算します。

式は、 $2000 - 980 - 180 = 840$   
としてもよいです。

- ⑥ 36人に配る画用紙のまい数を先に計算します。

7 式  $365 \times 174 = 63510$

答え 63510円

7  $365 \times 4$ 、 $365 \times 70$ 、 $365 \times 100$ の順に計算して合わせます。

## 12 小数

### ぴったり1 じゃんび 72ページ

1 0.001、0.004、1.324

2 (1)①0.4 ②0.05 ③0.45

(2)①0.9 ②0.08 ③0.003 ④2.983

### ぴったり2 練習 73ページ

てびき

1 ①1.52 L ②1.326 L

2 4.65 m

3 ①5.76 m ②5.93 m ③6.09 m

4 ①2.508 m ②10.734 km ③0.614 kg  
④1.5 L

1 ①1 Lですが1こ、0.1 Lですが5こ、0.01 Lが2こ分です。

②1 Lですが1こ、0.1 Lですが3こ、0.01 Lですが2こ、0.001 Lが6こ分、合わせて1.326 Lです。

2 100 cm = 1 mだから、10 cm = 0.1 m、1 cm = 0.01 mです。

60 cm = 0.6 m、5 cm = 0.05 mだから、4 mと0.6 mと0.05 mを合わせて、4.65 mです。

3 数直線の小さい目もりは0.1 mを10等分している、0.01 mです。

③9目もりは0.09 mです。6 mと0.09 mで6.09 mです。

4 ①1 mm = 0.001 m、②1 m = 0.001 km、

③1 g = 0.001 kg、④1 mL = 0.001 Lからそれぞれ考えます。

**しあげの5分レッスン** かさの単位 L、dL、mL の関係、長さの単位 km、m、cm、mm の関係、重さの単位 kg、g の関係をもう1回かくにんしておこう。

### ぴったり1 じゃんび 74ページ

1 ①8 ②1 ③6 ④3 ⑤4.759

2 10.74、107.4

3 3.72

### ぴったり2 練習 75ページ

てびき

1 ①ア1 ②イ6 ③ウ9 ④エ5

②0.1、0.001

③5827

④0.309

2 0 → 0.007 → 0.07 → 0.7 → 7

1 ①1.695は、1と0.6と0.09と0.005を合わせた数です。

②0.1が4こで0.4、0.001が7こで0.007です。

2 右のように、小数点をたてにそろえてくらべます。

7の数字が何の位にあるのかを考えます。

0
0.007
0.07
0.7
7

- 3 10倍…38.12  
100倍…381.2  
1000倍…3812

4 28.13

3 ある数を10倍、100倍、…すると、その数の小数点を、それぞれ右へ1けた、2けた、…うつした数になります。

4 ある数の $\frac{1}{10}$ の数は、その数の小数点を左へ1けたうつした数になります。

**びっぴり1 じゃんび** 76 ページ

1 ①6 ②8 ③3 ④3.86 ⑤3.86 ⑥3.86

2 ①1.52 ②2 ③2 ④1 ⑤1.22 ⑥1.22 ⑦1.22

**びっぴり2 練習** 77 ページ

てびき

1 ① 
$$\begin{array}{r} 3.14 \\ +5.23 \\ \hline 8.37 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 7.52 \\ +0.46 \\ \hline 7.98 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 4.07 \\ +1.38 \\ \hline 5.45 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 2.83 \\ +1.49 \\ \hline 4.32 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 5.92 \\ +0.78 \\ \hline 6.70 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 6.31 \\ +2.6 \\ \hline 8.91 \end{array}$$

2 ① 
$$\begin{array}{r} 4.87 \\ -2.53 \\ \hline 2.34 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 0.69 \\ -0.39 \\ \hline 0.30 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 6.15 \\ -4.60 \\ \hline 1.55 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 5.00 \\ -1.72 \\ \hline 3.28 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 5.03 \\ -0.36 \\ \hline 4.67 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 3.04 \\ -2.77 \\ \hline 0.27 \end{array}$$

3 ①7.69 ②13.7

4  $3 - 0.65 = 2.35$       答え 2.35 m

1 ⑤  $2 + 8 = 10$  で1くり上がります。  
小数の最後の0は0と消します。

2 ③4.6は4.60として考えます。  
④5は5.00として考えます。

⑤⑥  $\frac{1}{10}$ の位が0なので、一の位から順にくり下げて計算します。

3 ①  $4.69 + 2.75 + 0.25$   
 $= 4.69 + (2.75 + 0.25)$   
 $= 4.69 + 3 = 7.69$   
②  $3.46 + 3.7 + 6.54$   
 $= 3.7 + (3.46 + 6.54)$   
 $= 3.7 + 10 = 13.7$

4 65 cmは0.65 mです。  
3を3.00と考えると計算します。  
$$\begin{array}{r} 3.00 \\ -0.65 \\ \hline 2.35 \end{array}$$

**🕒 5分レッスン** まちがえた問題は、位がそろっているか、くり上がり、くり下がりが正しくできているかをたしかめてみよう。

**びっぴり3 たしかめのテスト** 78~79 ページ

てびき

1 ①0.56 L ②0.18 m

2 ①1.2 ②1.62 ③2.08

1 ①0.1 Lですが5こで0.5 L、0.1 Lを10等分した小さい目もり0.01 Lが6こ分で0.06 L、合わせて0.56 Lです。

②0.1 mを10等分しているの、1目もりは0.01 mです。

2 数直線の大きい目もり1つ分は0.1、小さい目もり1つ分は0.01です。

③2の次の大きい目もりは2.1なので、2.0□という数になります。

3 ①4.816 L ②136 cm ③59.254 km  
④0.168 kg

4 ①㊦ ②㊧ ③㊨ ④㊩  
①㊦ ②9.8 ③0.501

5 ①> ②<

6 ① 
$$\begin{array}{r} 3.45 \\ +2.73 \\ \hline 6.18 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 5.13 \\ +3.47 \\ \hline 8.60 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 6.27 \\ -4.82 \\ \hline 1.45 \end{array}$$
 ④ 
$$\begin{array}{r} 7.03 \\ -5.66 \\ \hline 1.37 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 6.20 \\ -1.45 \\ \hline 4.75 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 3.48 \\ -2.78 \\ \hline 0.70 \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 1.35 \\ +4.65 \\ \hline 6.00 \end{array}$$
 
$$\begin{array}{r} 6 \\ +2.87 \\ \hline 8.87 \end{array}$$

7 式  $3.05 + 4.28 = 7.33$  答え 7.33 kg

8 式  $1.5 - 0.86 = 0.64$  答え 0.64 L

3 ①1000 mL = 1 L  
②0.1 m = 10 cm 0.01 m = 1 cm  
③1000 m = 1 km ④1000 g = 1 kg

4 ①0.01は0こなので、気をつけましょう。  
また、0.001を1000こ集めたら1になるので、8.402は0.001を8402こ集めた数です。  
②100倍すると、小数点を右へ2けたうつした数になります。

③ $\frac{1}{10}$ にすると、小数点を左へ1けたうつした数になります。

5 小数点をそろえて書いてくらべることができます。  
上の位からくらべます。

①0.572 ②1.89  
0.56 1.92

6 ②答えの最後の0は消します。

7 合わせるので、たし算です。

$$\begin{array}{r} 3.05 \\ +4.28 \\ \hline 7.33 \end{array}$$

8 1.5は1.50として、筆算で計算します。

$$\begin{array}{r} 1.50 \\ -0.86 \\ \hline 0.64 \end{array}$$

## 13 そろばん

びっぴり1 **じゃんび** 80 ページ

1 千、百万、一億

2 (1)1、1、122 (2)3.2、2、2.4

びっぴり2 **練習** 81 ページ

1 ①234053800 ②2.51

ていいてん **1** 定位点のあるけたを一の位として、  
くわい  
左へ順に、十の位、百の位、千の位、…、  
じゆん  
右へ順に、 $\frac{1}{10}$ の位、 $\frac{1}{100}$ の位、…です。

- ② ①112 ②120 ③136 ④145  
 ⑤121 ⑥174 ⑦7.7 ⑧6.1  
 ⑨4 ⑩120億 ⑪900億 ⑫120兆<sup>ちよう</sup>
- ③ ①57 ②94 ③48 ④46  
 ⑤85 ⑥98 ⑦2.7 ⑧2.4  
 ⑨7.5 ⑩40億 ⑪60億 ⑫300兆

② 上の位から順に、計算します。

③ ①～⑥百の位から1の玉を1つはらって、十の位に入れていきます。

## 14 めんせき 面積

### びったり① じゃんび 82 ページ

- ① (1)12、12 (2)17、17
- ② (1)①7 ②1 ③8  
 (2)①5 ②4 ③2 ④7  
 (3)①8 ②2 ③10

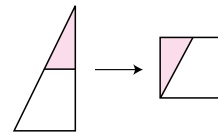
### びったり② 練習 83 ページ

- ① ①14 cm<sup>2</sup> ②18 cm<sup>2</sup>
- ② ①1 cm<sup>2</sup> ②1 cm<sup>2</sup> ③2 cm<sup>2</sup> ④1 cm<sup>2</sup>

- ③ ①16 cm<sup>2</sup> ②8 cm<sup>2</sup> ③15 cm<sup>2</sup> ④14 cm<sup>2</sup>  
 ⑤16 cm<sup>2</sup>

① 1 cm<sup>2</sup> の正方形の数を数えます。

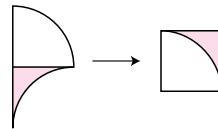
② ①上の三角形を動かすと、1 cm<sup>2</sup> の正方形になります。



③ ②右の三角形を動かすと、1 cm<sup>2</sup> の正方形2こ分になります。



④ ③下の図形を動かすと、1 cm<sup>2</sup> の正方形になります。



③ 正方形1この面積は1 cm<sup>2</sup> です。

### びったり① じゃんび 84 ページ

- ① 3、5、15、15
- ② 42、6
- ③ 4、4、16、16

### びったり② 練習 85 ページ

- ① ①112 cm<sup>2</sup> ②100 cm<sup>2</sup>

- ② 9 cm<sup>2</sup>
- ③ 16

① ①長方形の面積＝たて×横だから、14×8です。

② 正方形の面積＝<sup>へん</sup>1辺×1辺  
 だから、10×10です。

② 1辺の長さが3 cmなので、3×3で計算します。

③ 7×□＝112で、□＝112÷7＝16

- ④ ①式  $4 \times 7 = 28$      $7 \times 2 = 14$   
 $28 + 14 = 42$                       答え  $42 \text{ cm}^2$
- ②式  $4 \times 9 = 36$      $3 \times 2 = 6$   
 $36 + 6 = 42$                       答え  $42 \text{ cm}^2$
- ③式  $7 \times 9 = 63$      $3 \times 7 = 21$   
 $63 - 21 = 42$                       答え  $42 \text{ cm}^2$

- ④ 2つに分けた長方形の面積から求めます。

**しあげの5分レッスン** 長方形と正方形の面積の公式を、もう1回かくにんしておこう。

**ぴったり1** **じゃんび** **86** ページ

- 1 ①100 ②10000 ③10000 ④1000 ⑤1000000 ⑥1000000  
 2 ①1800 ②100 ③1800 ④18

**ぴったり2** **練習** **87** ページ

- ① ①24 m<sup>2</sup> ②15 a ③9 ha ④30 km<sup>2</sup>

- ② ①30000 ②18 ③50000 ④400  
 ⑤200

- ③ ①100倍 ②10000倍

**しあげの5分レッスン** 大きい面積の表し方を理か  
 いするだけでなく、面積どうしの関係ももう1回かく  
 にんしておこう。

**てびき**

- ① ②1 a = 100 m<sup>2</sup> だから、50 × 30 の答えを 100  
 でわります。  
 1 辺が 10 m の正方形がたてに 5 こ、横に  
 3 こならぶので、5 × 3 と考えてもよいです。  
 ③1 ha = 10000 m<sup>2</sup> だから、300 × 300 の答  
 えを 10000 でわります。  
 1 辺が 100 m の正方形が 1 辺に 3 こずつなら  
 ぶので、3 × 3 と考えてもよいです。
- ② ①1 m<sup>2</sup> = 10000 cm<sup>2</sup> を使います。  
 ②1 a = 100 m<sup>2</sup> を使います。  
 ③1 ha = 10000 m<sup>2</sup> を使います。  
 ④1 km<sup>2</sup> = 1000000 m<sup>2</sup> を使います。  
 ⑤1 km<sup>2</sup> = 100 ha を使います。
- ③ ①1 m = 100 cm だから、1 辺が 1 m の正方形  
 には、1 辺が 10 cm の正方形が、たてに 10 こ、  
 横に 10 こならびます。  
 全部で (10 × 10 =) 100 こならぶので、  
 100 倍の面積になります。  
 ②たて 300 m、横 400 m の長方形には、  
 たて 3 m、横 4 m の長方形が、たてに 100 こ、  
 横に 100 こならぶので、全部で  
 (100 × 100 =) 10000 こならびます。

**ぴったり3** **たしかめのテスト** **88~89** ページ

- ① ①8 cm<sup>2</sup> ②6 cm<sup>2</sup> ③4 cm<sup>2</sup> ④14 cm<sup>2</sup>

- ② ①60000 ②24 ③700 ④12

**てびき**

- ① 正方形 | この面積は 1 cm<sup>2</sup> です。  
 ①④三角形 2 こで正方形 | この分と考えます。  
 ③下の三角形の部分を上を動かすと、  
 正方形 4 こ分になります。
- ② ①1 m<sup>2</sup> = 10000 cm<sup>2</sup> を使って求めます。  
 ②1 km<sup>2</sup> = 1000000 m<sup>2</sup> を使って求めます。  
 ③1 a = 100 m<sup>2</sup> を使って求めます。  
 ④1 ha = 10000 m<sup>2</sup> を使って求めます。



- 3 ①275 cm<sup>2</sup> ②248 m<sup>2</sup> ③2250 m<sup>2</sup>  
④54 cm<sup>2</sup>

- 4 ①5 ②17

- 5 式  $(24-2) \times (52-2) = 1100$

答え 1100 m<sup>2</sup>

- 6 ①式  $18 \times 4 = 72$   $72 \div 2 = 36$

$36 - 23 = 13$  答え 13 m

- ②式  $13 \times 23 = 299$   $18 \times 18 = 324$

$324 - 299 = 25$

答え 正方形の土地の方が 25 m<sup>2</sup> 広い。

- 3 2つの長方形に分けたり、大きい長方形から小さい長方形の面積をひいたりして求めます。

①  $15 \times 25 = 375$   $(15-5-5) \times 20 = 100$   
 $375 - 100 = 275$

②  $18 \times 20 = 360$   $(18-10) \times 14 = 112$   
 $360 - 112 = 248$

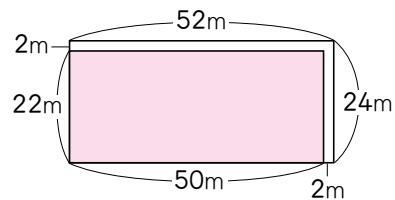
③  $(10+40) \times (20+40) = 3000$   
 $10 \times 15 = 150$   
 $(10+40-35) \times 40 = 600$   
 $3000 - 150 - 600 = 2250$

④  $7 \times 9 = 63$   $3 \times 3 = 9$   $63 - 9 = 54$

- 4 ①正方形の中の白い長方形の面積は、  
 $12 \times 12 - 104 = 40$  で、40 m<sup>2</sup>  
 $\square \times 8 = 40$   $\square = 40 \div 8 = 5$

- ②大きい長方形から小さい長方形をひいた図形と考えると、小さい長方形の面積は、  
 $20 \times 30 - 464 = 136$  で、136 cm<sup>2</sup>  
 $8 \times \square = 136$   $\square = 136 \div 8 = 17$

- 5 道をはしによせても畑の部分の面積は変わりません。



- 6 ①長方形と正方形の土地のまわりの長さは、  
 $18 \times 4 = 72$  で、72 m です。  
長方形のまわりの長さは、(たて+横)×2 だから、(たて+横)は、 $72 \div 2 = 36$  で、36 m です。

## 15 計算のしかたを考えよう

### びったり1 じゃんび 90 ページ

- 1 (1)①72 ②7.2 (2)①85 ②8.5

- 2 (1)①14 ②1.4 (2)①96 ②24 ③2.4

### びったり2 練習 91 ページ

#### てびき

- 1 ①1.4 ②ア14 ③イ84 ④ウ84 ⑤エ8.4  
⑥オ84 ⑦カ8.4 ⑧キ8.4

- 1 ①整数のときと同じように、かけ算の式で表せません。  
②L を dL になおすと、整数のかけ算になります。  
積を L の単位で表して答えます。  
③かけられる数を 10 倍すると、積も 10 倍になります。その積の  $\frac{1}{10}$  が答えです。

2 ①  $2.5 \times 3$  ②  $7.5 \text{ kg}$

3 ①  $\text{ア} 6.5$  ①  $5$   
 ②  $\text{ウ} 65$  ②  $13$  ③  $\text{オ} 13$  ④  $\text{カ} 1.3$   
 ③  $\text{キ} 13$  ④  $\text{ク} 1.3$  ⑤  $\text{ケ} 1.3$

4 ①  $4.8 \div 3$  ②  $1.6 \text{ L}$

2 ①  $2.5 \text{ kg}$  が3ふくろなのでかけ算です。  
 ②  $0.1$  をもとにすると、 $25 \times 3 = 75$  です。  
 $0.1$  が  $75$  こだから、 $7.5$  になります。

3 ① 1つ分の数 = 全部の数  $\div$  いくつ分  
 整数のときと同じように、わり算で表せます。  
 ③ わられる数を10倍すると、商も10倍になります。その商の  $\frac{1}{10}$  が答えです。

4 ②  $48 \div 3 = 16$  です。  $16 \text{ dL} = 1.6 \text{ L}$  になります。

**しあげの5分レッスン** 小数のかけ算やわり算は、小数を整数になおせば、整数と同じように計算できます。かけ算やわり算のきまりをもう1回かくにんしておこう。

## 16 小数のかけ算とわり算

### びっぴり1 じゃんび 92 ページ

1 (1)  $6.8$  (2)  $6.0$   
 2  $13.5$ 、 $13.5$ 、 $13.5$   
 3 (1)  $45$ 、 $49.5$  (2)  $4.86$

### びっぴり2 練習 93 ページ

1 ①  $\begin{array}{r} 2.4 \\ \times 2 \\ \hline 4.8 \end{array}$  ②  $\begin{array}{r} 1.8 \\ \times 3 \\ \hline 5.4 \end{array}$  ③  $\begin{array}{r} 2.7 \\ \times 6 \\ \hline 16.2 \end{array}$  ④  $\begin{array}{r} 0.9 \\ \times 7 \\ \hline 6.3 \end{array}$

2 ①  $\begin{array}{r} 1.5 \\ \times 4 \\ \hline 6.0 \end{array}$  ②  $\begin{array}{r} 0.8 \\ \times 5 \\ \hline 4.0 \end{array}$  ③  $\begin{array}{r} 0.4 \\ \times 15 \\ \hline 20 \\ 4 \\ \hline 6.0 \end{array}$  ④  $\begin{array}{r} 2.1 \\ \times 13 \\ \hline 63 \\ 21 \\ \hline 27.3 \end{array}$

⑤  $\begin{array}{r} 1.7 \\ \times 16 \\ \hline 102 \\ 17 \\ \hline 27.2 \end{array}$  ⑥  $\begin{array}{r} 4.1 \\ \times 18 \\ \hline 328 \\ 41 \\ \hline 73.8 \end{array}$  ⑦  $\begin{array}{r} 3.6 \\ \times 16 \\ \hline 216 \\ 36 \\ \hline 57.6 \end{array}$  ⑧  $\begin{array}{r} 4.7 \\ \times 30 \\ \hline 141.0 \end{array}$

3  $4.5 \times 8 = 36.0$  答え  $36 \text{ cm}^2$

4 ①  $\begin{array}{r} 1.53 \\ \times 4 \\ \hline 6.12 \end{array}$  ②  $\begin{array}{r} 0.32 \\ \times 3 \\ \hline 0.96 \end{array}$  ③  $\begin{array}{r} 0.06 \\ \times 5 \\ \hline 0.30 \end{array}$

④  $\begin{array}{r} 0.45 \\ \times 2 \\ \hline 0.90 \end{array}$  ⑤  $\begin{array}{r} 3.14 \\ \times 16 \\ \hline 1884 \\ 314 \\ \hline 50.24 \end{array}$  ⑥  $\begin{array}{r} 0.63 \\ \times 28 \\ \hline 504 \\ 126 \\ \hline 17.64 \end{array}$

### てびき

1 整数  $\times$  整数と同じように考えて計算し、かけられる数と、小数点より下のけた数が同じになるように、積の小数点をつけます。

2 ①②③⑧ 小数点よりも右にある右はしの0は消します。  
 小数点より右に数字がないときには、小数点も消します。

③~⑧ かける数が2けたになっても、整数  $\times$  整数と同じように計算します。

⑧  $0 \times 7 = 0$ 、 $0 \times 4 = 0$  を省いています。

3 長方形の面積 = たて  $\times$  横の公式にあてはめて計算します。

4 小数第二位があっても、同じように計算します。  
 ② 積の小数点をつけて、その左に数字がないときは、0を書きます。

③ 小数点より右にある右はしの0は消します。

**しあげの5分レッスン** 筆算をするときは、積に小数点をつけるのをわすれないようにしましょう。また、小数点をつける位置に注意しよう。

- 1 ①わられる ②3 ③一 ④3.8  
 2 (1)0.32 (2)0.58

1 ① 
$$\begin{array}{r} 1.7 \\ 5 \overline{) 8.5} \\ \underline{5} \\ 35 \\ \underline{35} \\ 0 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 1.4 \\ 7 \overline{) 9.8} \\ \underline{7} \\ 28 \\ \underline{28} \\ 0 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 2.3 \\ 2 \overline{) 4.6} \\ \underline{4} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 2.4 \\ 27 \overline{) 64.8} \\ \underline{54} \\ 108 \\ \underline{108} \\ 0 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 1.7 \\ 42 \overline{) 71.4} \\ \underline{42} \\ 294 \\ \underline{294} \\ 0 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 2.4 \\ 28 \overline{) 67.2} \\ \underline{56} \\ 112 \\ \underline{112} \\ 0 \end{array}$$

2 ① 
$$\begin{array}{r} 0.4 \\ 8 \overline{) 3.2} \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 0.2 \\ 4 \overline{) 0.8} \\ \underline{8} \\ 0 \end{array}$$
 ③ 
$$\begin{array}{r} 0.16 \\ 7 \overline{) 1.12} \\ \underline{7} \\ 42 \\ \underline{42} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 0.73 \\ 8 \overline{) 5.84} \\ \underline{56} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$
 ⑤ 
$$\begin{array}{r} 0.23 \\ 23 \overline{) 5.29} \\ \underline{46} \\ 69 \\ \underline{69} \\ 0 \end{array}$$
 ⑥ 
$$\begin{array}{r} 0.13 \\ 6 \overline{) 0.78} \\ \underline{6} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$

- 3 式  $3.22 \div 7 = 0.46$  答え 0.46 m

1 整数÷整数と同じように考えて計算し、商の小数点を、わられる数の小数点にそろえてつけます。

2 わる数よりわられる数の方が小さいときには、一の位に0をたてます。

3 
$$\begin{array}{r} 0.46 \\ 7 \overline{) 3.22} \\ \underline{28} \\ 42 \\ \underline{42} \\ 0 \end{array}$$

- 1 ①二 ②一 ③0.8 ④0.8  
 2 ①5 ②1.3 ③5 ④1.3 ⑤11.3 ⑥2 ⑦5 ⑧1.3  
 3 ①1.2 ②3 ③1.2 ④3 ⑤3.6 ⑥3.6

- 1 ①1.25 ②1.36 ③0.875

1 ① 
$$\begin{array}{r} 1.2 \\ 2 \overline{) 2.5} \\ \underline{2} \\ 5 \\ \underline{4} \\ 1 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 1.25 \\ 2 \overline{) 2.50} \\ \underline{2} \\ 5 \\ \underline{4} \\ 10 \\ \underline{10} \\ 0 \end{array}$$
 0があると考えてわり進めます。

2 ①1.9 ②0.6 ③0.8

3 ①  $18.3 \div 4 = 4$  あまり 2.3  
 答え 4ふくろできて、2.3 kg あまる

②  $4 \times 4 + 2.3 = 18.3$

4 ①全部の数、いくつ分

②1つ分の数

③全部の数...2.4、いくつ分...4

$2.4 \div 4 = 0.6$

答え 0.6 L

2 ① 
$$\begin{array}{r} 1.86 \\ 3 \overline{) 5.6} \\ \underline{3} \phantom{0} \\ 26 \\ \underline{24} \\ 20 \\ \underline{18} \\ 2 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 0.84 \\ 92 \overline{) 77.3} \\ \underline{736} \phantom{0} \\ 370 \\ \underline{368} \\ 2 \end{array}$$

3 ① 
$$\begin{array}{r} 4 \\ 4 \overline{) 18.3} \\ \underline{16} \phantom{0} \\ 23 \end{array}$$

② わる数  $\times$  商 + あまり = わられる数  
 にあてはめます。

4 ③ 1つ分の数 = 全部の数  $\div$  いくつ分で求めます。

5つたし 3 たしかめのテスト

98~99 ページ

てびき

1 ①ア0.1 ①144 ㊦14.4

②ア0.01 ①28 ㊦0.28

2 ① 
$$\begin{array}{r} 5.3 \\ \times 7 \\ \hline 37.1 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 0.8 \\ \times 6 \\ \hline 4.8 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 6.5 \\ \times 4 \\ \hline 26.0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 3.9 \\ \times 15 \\ \hline 195 \\ 39 \phantom{0} \\ \hline 58.5 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 1.53 \\ \times 8 \\ \hline 12.24 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 0.48 \\ \times 5 \\ \hline 2.40 \end{array}$$

3 ① 
$$\begin{array}{r} 2.5 \\ 3 \overline{) 7.5} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 4.5 \\ 19 \overline{) 85.5} \\ \underline{76} \phantom{0} \\ 95 \\ \underline{95} \\ 0 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 0.74 \\ 8 \overline{) 5.92} \\ \underline{56} \phantom{0} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

4 ①1.42 ②0.375

5 ①4あまり1.1  
 ②15あまり0.5

6 ①0.7 ②0.9

2 ③⑥小数点よりも右にある右はしの0は消します。

4 ① 
$$\begin{array}{r} 1.42 \\ 5 \overline{) 7.10} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 21 \\ \underline{20} \\ 10 \\ \underline{10} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 0.375 \\ 8 \overline{) 3.000} \\ \underline{24} \phantom{00} \\ 60 \\ \underline{56} \\ 40 \\ \underline{40} \\ 0 \end{array}$$

5 ① 
$$\begin{array}{r} 4 \\ 6 \overline{) 25.1} \\ \underline{24} \phantom{0} \\ 11 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 15 \\ 4 \overline{) 60.5} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0.5 \end{array}$$

6 小数第二位をししやごにや四捨五入します。

① 
$$\begin{array}{r} 0.74 \\ 7 \overline{) 5.2} \\ \underline{49} \phantom{0} \\ 30 \\ \underline{28} \\ 2 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 0.85 \\ 51 \overline{) 436.0} \\ \underline{408} \phantom{0} \\ 280 \\ \underline{255} \\ 25 \end{array}$$

7 式  $11\text{ m } 20\text{ cm} = 11.2\text{ m}$   
 $11.2 \div 7 = 1.6$  答え  $1.6\text{ m}$

8 式  $30.4 \div 4 = 7.6$  答え  $7.6\text{ m}$

9 式  $8.2 \times 15 = 123$  答え  $123\text{ km}$

**🏠 おうちのかなへ** 身近にある、家の花だんや自動車のガソリン1Lで走る距離などで、小数×整数、小数÷整数の問題を作って考えさせるのも、小数の計算を理解するのによいかもかもしれませんね。

7  $11\text{ m } 20\text{ cm}$  を  $\text{m}$  になおして計算します。7等分するので、わり算です。

$$\begin{array}{r} 1.6 \\ 7 \overline{) 11.2} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 42 \\ \underline{42} \\ 0 \end{array}$$

8 長方形の面積 = たて × 横の公式から求めます。

9 わかっているのは1つ分の数  $8.2(\text{km})$ 、いくつ分  $15(\text{L})$ 、求めているものは全部の数です。

全部の数 = 1つ分の数 × いくつ分の式にあてはめて計算します。

## 🐼 倍の計算(3)～小数倍～

**ポッチャにトライ** 100～101 ページ

**てびき**

★ ①  $24 \div 12 = 2$  答え 2倍

②  $18 \div 12 = 1.5$  答え 1.5倍

③  $30 \div 12 = 2.5$  答え 2.5倍

④  $18 \div 30 = 0.6$  答え 0.6倍

★ ①  $16.8 \div 12 = 1.4$  答え 1.4倍

②  $16.8 \times 2 = 33.6$   $33.6 \div 12 = 2.8$

答え 記録… $33.6\text{ cm}$ 、倍… $2.8$ 倍

★ ① たかさんの記録のいくつ分になっているかを求めるので、式は、

ゆみさんの記録 ÷ たかさんの記録  
になります。

★ ② えみさんの記録は、としきさんの記録 × 2で求められます。

## 17 分数

**びっぴり1 じゃんび** 102 ページ

1  $\frac{5}{4}$ 、 $\frac{7}{7}$  (順不同)

2 3、6、 $\frac{6}{3}$ 、 $\frac{7}{3}$

3  $\frac{2}{5}$ 、1、 $1\frac{2}{5}$

**びっぴり2 練習** 103 ページ

**てびき**

1 ①  $2\frac{3}{5}\text{ dL}$ 、 $\frac{13}{5}\text{ dL}$  ②  $2\frac{4}{9}\text{ m}$ 、 $\frac{22}{9}\text{ m}$

2 ㊦  $\frac{7}{8}$  ㊥  $1\frac{3}{8}$ 、 $\frac{11}{8}$  ㊧  $2\frac{5}{8}$ 、 $\frac{21}{8}$

3 ①  $\frac{23}{7}$  ②  $\frac{17}{6}$  ③  $\frac{19}{4}$  ④  $\frac{16}{9}$

4 ①  $1\frac{3}{5}$  ②  $1\frac{2}{7}$  ③  $4\frac{2}{3}$  ④ 3

1 ①  $2\text{ dL}$  と  $\frac{3}{5}\text{ dL}$  です。  $2\text{ dL}$  は  $\frac{10}{5}\text{ dL}$  です。

2 1目もりは、 $\frac{1}{8}$  を表しています。

① 1 と  $\frac{3}{8}$  の和で  $1\frac{3}{8}$ 、 $\frac{1}{8}$  が 11こ分て  $\frac{11}{8}$

3 ① 分子は、 $7 \times 3 + 2$  で求めます。

② 分子は、 $6 \times 2 + 5$  で求めます。

4 ①  $\frac{8}{5}$  は  $\frac{5}{5}$  と  $\frac{3}{5}$  に分けられます。

③  $\frac{14}{3}$  は  $\frac{3}{3}$  と  $\frac{3}{3}$  と  $\frac{3}{3}$  と  $\frac{3}{3}$  と  $\frac{2}{3}$  です。

**🍷 あげの5分レッスン** 帯分数を仮分数になおす方法と、仮分数を整数や帯分数になおす方法をもう1回かくにんしておこう。

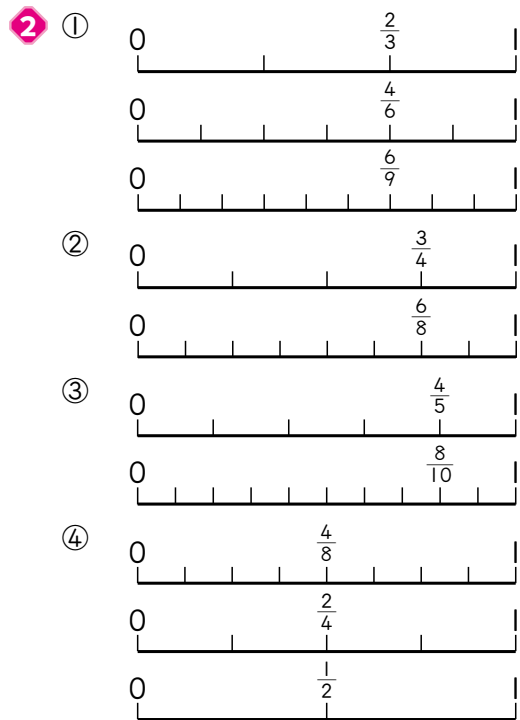
- 1 ① 小 さ ②  $\frac{1}{5}$  ③  $\frac{1}{4}$  ④  $\frac{1}{2}$   
 2  $\frac{2}{6}$

- 1 ①  $\frac{1}{8}$ 、 $\frac{1}{5}$ 、 $\frac{1}{3}$   
 ②  $\frac{3}{10}$ 、 $\frac{3}{7}$ 、 $\frac{3}{4}$   
 ③  $\frac{2}{9}$ 、 $\frac{5}{9}$ 、 $\frac{8}{9}$   
 2 ① 4、6  
 ② 6  
 ③ 10  
 ④ 4、2

- 3 ① > ② < ③ =

**しげの5分レッスン** 分数の大小がわからなくなったときは、数直線をかいて考えてみよう。

- 1 ①② 分子が同じ分数では、分母が大きくなるほど、分数の大きさは小さくなります。



- 3 分子が同じ分数では、分母が大きい方が小さい数、分母が同じ分数では、分子が小さい方が小さい数になります。

- 1 (1) 7、2 (2) ① 3 ② 8 ③ 4 ④ 1  
 2 (1) 分子、6 (2) 1

- 1 ①  $\frac{6}{7}$  ② 1 ③  $1\frac{2}{5}$  ④  $3\frac{8}{9}$  ⑤  $5\frac{2}{8}$  ⑥ 3

2  $1\frac{7}{9} + \frac{5}{9} = 1\frac{12}{9}$   
 $= 2\frac{3}{9}$

答え  $2\frac{3}{9}$  L

1 ②  $\frac{1}{6} + \frac{5}{6} = \frac{6}{6} = 1$

⑤  $1\frac{3}{8} + 3\frac{7}{8} = 4\frac{10}{8} = 5\frac{2}{8}$

⑥  $\frac{7}{10} + 2\frac{3}{10} = 2\frac{10}{10} = 3$

- 2 合わせるのでたし算です。 $1\frac{2}{9}$  は  $\frac{9}{9}$  と  $\frac{3}{9}$  に分けられるので、整数部分に1くり上げます。

③ ①  $\frac{3}{5}$  ②  $\frac{6}{8}$  ③  $2\frac{3}{7}$  ④  $\frac{7}{9}$  ⑤  $1\frac{3}{5}$  ⑥  $2\frac{4}{7}$

④  $4 - 1\frac{5}{8} = 3\frac{8}{8} - 1\frac{5}{8}$   
 $= 2\frac{3}{8}$

答え  $2\frac{3}{8}$  kg

③ 分子どうしのひき算をします。  
 分数部分がひけないときには、ひかれる数の整数部分を1くり下げます。

④  $1\frac{2}{9} - \frac{4}{9} = \frac{11}{9} - \frac{4}{9} = \frac{7}{9}$

⑤  $5\frac{2}{5} - 3\frac{4}{5} = 4\frac{7}{5} - 3\frac{4}{5} = 1\frac{3}{5}$

⑥  $4 - 1\frac{3}{7} = 3\frac{7}{7} - 1\frac{3}{7} = 2\frac{4}{7}$

④ のこ残りを求めるとひき算です。  
 4を3と $\frac{8}{8}$ に分けて考えます。

びっぴり 3 たしかめのテスト

108~109 ページ

てびき

① ① 5 ②  $\frac{1}{5}$  ③  $\frac{5}{6}$

② ①  $\frac{15}{4}$  ②  $\frac{53}{9}$  ③  $4\frac{1}{5}$  ④ 6

③ ①  $\frac{4}{6}$ 、 $\frac{6}{9}$  (順不同)

②  $\frac{3}{8}$ 、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{5}{9}$ 、 $\frac{3}{4}$

④ ① < ② = ③ >

① ②  $\frac{1}{5}$  が7こで  $\frac{7}{5}$  になります。

② ① 分子は  $4 \times 3 + 3 = 15$  になります。

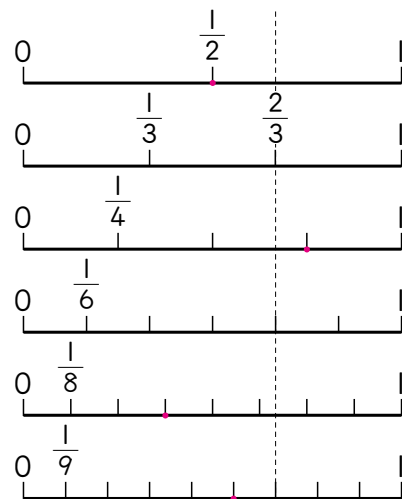
③  $\frac{21}{5}$  は  $\frac{20}{5}$  と  $\frac{1}{5}$  に分けられます。

$\frac{20}{5} = 4$  です。

④ 分子が分母でわり切れるので、整数になります。

③ ① 次の図のように  $\frac{2}{3}$  を通る線を引きます。

この線と重なった目もりが、 $\frac{2}{3}$  と同じ大きさです。



② 4つの分数を、数直線に・でかき入れました。  
 左にあるほど小さい分数です。

④ 帯分数は仮分数になおしてくらべましょう。

①  $3\frac{2}{3} = \frac{11}{3}$  分子をくらべて、<

③  $2\frac{5}{6} = \frac{17}{6}$ 、 $2\frac{3}{7} = \frac{17}{7}$

分子が同じなので、分母を比べて、>

5 ①  $1\frac{4}{7}$  ②  $3\frac{4}{5}$  ③ 3 ④  $6\frac{2}{4}$  ⑤  $\frac{5}{9}$  ⑥  $2\frac{3}{6}$   
 ⑦  $\frac{3}{5}$  ⑧  $1\frac{4}{8}$

6 式  $2\frac{3}{5} + 1\frac{4}{5} = 3\frac{7}{5}$   
 $= 4\frac{2}{5}$  答え  $4\frac{2}{5}$  kg

7 式  $\frac{11}{8} - 1\frac{1}{8} = \frac{11}{8} - \frac{9}{8} = \frac{2}{8}$   
 答え ジュースが  $\frac{2}{8}$  L 多い。

8 ① 白色のテープ

② 式  $1\frac{6}{7} - \frac{11}{7} = \frac{13}{7} - \frac{11}{7}$   
 $= \frac{2}{7}$  答え  $\frac{2}{7}$  m

**しあげの5分レッスン** 仮分数と帯分数の関係をも  
 う1回かくにんしておこう。

5 ③  $1\frac{3}{10} + 1\frac{7}{10} = 2\frac{10}{10} = 3$

④  $2\frac{3}{4} + 3\frac{3}{4} = 5\frac{6}{4} = 6\frac{2}{4}$

⑤  $1 - \frac{4}{9} = \frac{9}{9} - \frac{4}{9} = \frac{5}{9}$

⑦  $1\frac{2}{5} - \frac{4}{5} = \frac{7}{5} - \frac{4}{5} = \frac{3}{5}$

⑧  $3\frac{3}{8} - 1\frac{7}{8} = 2\frac{11}{8} - 1\frac{7}{8} = 1\frac{4}{8}$

6 合わせるのでたし算です。 $\frac{7}{5}$ は $\frac{5}{5}$ と $\frac{2}{5}$ に分けられるので、整数部分に1くり上げます。

7  $1\frac{1}{8}$ を仮分数になおして、大きさをくらべます。

$1\frac{1}{8}$ は $\frac{9}{8}$ だから、 $\frac{11}{8}$ の方が大きいです。

8 ①  $1\frac{6}{7}$ は $\frac{13}{7}$ です。

$\frac{11}{9}$ と $\frac{11}{7}$ と $\frac{13}{7}$ の大きさをくらべます。

$\frac{11}{9}$ と $\frac{11}{7}$ では $\frac{11}{7}$ の方が大きく、 $\frac{11}{7}$ と

$\frac{13}{7}$ では $\frac{13}{7}$ の方が大きいので、いちばん長い

テープは $1\frac{6}{7}$  mの白色のテープです。

## 18 直方体と立方体

**びっぴり1** **じゃんび** 110 ページ

1 ①6 ②6 ③12 ④12 ⑤8 ⑥8

2 ディー エルエム  
 D、LM

**びっぴり2** **練習** 111 ページ

1 ①6 ②ア12 ①8 ③平面 ④直方体

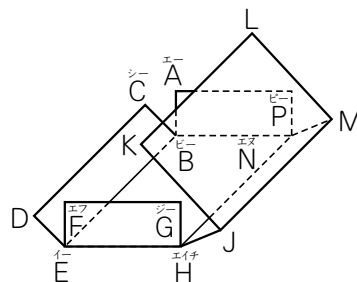
2 ①点M ②辺LK ケー ③面LKJM ジェイ

**てびき**

1 ①立方体には、長方形の面はなく、6つの面がすべて正方形です。

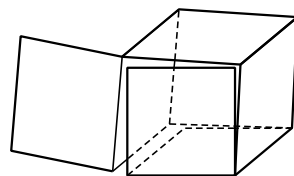
②立方体も直方体も、同じ数の<sup>へん</sup>辺と、同じ数の<sup>ちよう</sup>頂点を持ちます。

2 組み立てると、次の図のようになります。



3 ㊦

3 ㊦は、次の図のように2つの面が重なってしまいます。



**🕒 5分レッスン** てんかいず 展開図の問題をまちがえたら、展開図を紙にうつし、切って組み立ててみよう。

**ぴったり1 じゃんび** 112 ページ

1 (1)①AE ②BF ③CG ④DH ⑤AB ⑥BC ⑦CD ⑧DA

(①~④、⑤~⑧は、それぞれ順不同)

(2)①BFGC ②DHGC ③EFGH (②③は順不同)

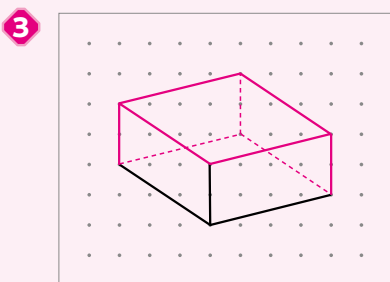
2 たて、横(順不同)、1辺

**ぴったり2 練習** 113 ページ

てびき

- 1 ①見取図  
 ②辺<sup>へん</sup>AB、辺DC、辺AE、辺DH  
 ③辺AE、辺DH、辺CG  
 ④面ABCD、面AEHD、面BFGC、面EFGH  
 ⑤面DHGC

- 2 ①面ABCD、面EFGH  
 ②面ABFE、面AEHD  
 ③辺AB、辺CD、辺EF、辺GH  
 ④辺EF、辺FG、辺GH、辺HE



- 1 ④直方体や立方体では、となり合っている2つの面は垂直です。  
 ⑤交わらない2つの面は平行です。

- 2 面と辺の関係を調べます。  
 ③面に垂直な辺は、面に垂直な面の中にあります。  
 ④面に平行な辺は、面に平行な面の中にあります。

- 3 見取図では、平行な辺は平行にかきます。辺の長さに気をつけて、見えている辺をかき、見えない辺を点線でかきます。

**🕒 5分レッスン** 面や辺をすべて答える問題では、もれがないように、気をつけて答えるようにしましょう。

**ぴったり1 じゃんび** 114 ページ

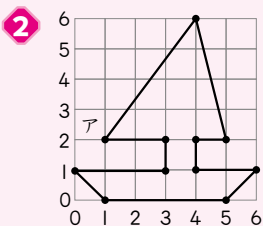
1 ①3 ②3 ③4 ④3 ⑤5

2 ①1 ②1 ③3 ④2 ⑤3 ⑥2

**ぴったり2 練習** 115 ページ

てびき

- 1 ①3  
 ②(2の2)、(2の3)、(2の4)



- 1 ①とる石を×で消してみます。  
 ②中の3つの石をとれば、0になります。



- 2 横、たての順じゅんに点を取り、つないでいきます。



# 19 ともなって変わる量かりょう

## びっぴり1 じゃんび 118 ページ

- 1 4、36  
2 4、4

## びっぴり2 練習 119 ページ

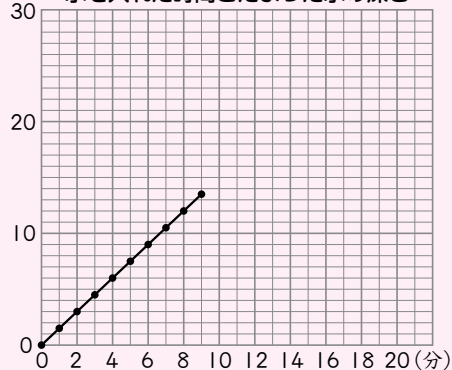
てびき

- 1 ① 1辺の本数とまわりにならんだ本数

1辺の本数(本)	1	2	3	4	5	6
まわりにならんだ本数(本)	4	8	12	16	20	24

- ②  $\square \times 4 = \bigcirc$  ③ 32本 ④ 10本

- 2 ① (cm) 水を入れた時間とたまった水の深さ



- ② 30 cm ③ 12分後

- 1 ② まわりにならんだ本数は、1辺の本数の4倍になっています。

③  $8 \times 4 = 32$ と求められます。

④  $\square \times 4 = 40$ だから、 $\square = 40 \div 4 = 10$ と求められます。

- 2 ②③ グラフをそのままのばしていくと、12分のところで18 cm、20分のところで30 cmになります。

また、表を見ると、1分ごとに1.5 cmずつ深くなっているから、20分後は、 $1.5 \times 20 = 30$ で、30 cm

**しゅげの5分レッスン** 2つの量のかんけい関係を式で表すときには、表から2つの量の間のきまりを見つけ、そのきまりをもとにして考えてみよう。

## びっぴり3 たしかめのテスト 120~121 ページ

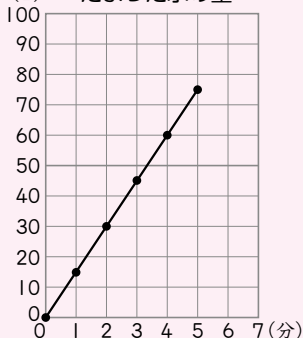
てびき

- 1 ①○ ②× ③○ ④× ⑤×

- 2 ① 水を入れた時間とたまった水の量

時間(分)	0	1	2	3	4	5
水の量(L)	0	15	30	45	60	75

- ② (L) 水を入れた時間とたまった水の量



- ③ 120 L  
④ 10分後  
⑤  $15 \times \square = \bigcirc$

- 3 ① 2 cm ② 28 cm ③ 100 g

- 4 ① 1辺のご石の数とまわりにならんだご石の数

1辺のご石の数(こ)	2	3	4	5	6	7
まわりにならんだご石の数(こ)	4	8	12	16	20	24

- ②  $\square \times 4 - 4 = \bigcirc$  ( $(\square - 1) \times 4 = \bigcirc$ でもよい)  
③ 28こ  
④ 9こ

- 1 ① 1辺の長さが1 cmから2 cmにふえると、めんせき面積は1 cm<sup>2</sup>から4 cm<sup>2</sup>にふえます。

③ えん筆の本数がふえると、その代金もふえます。

- 2 ③~⑤ 表をたてに見ると、

水の量 = 15 × 時間  
になっています。

- 3 ① 表を横に見ます。

② 70 gのときより4 cm長くなるので、 $24 + 4$ で求められます。

③  $30 - 10 = 20$ で、20 cmのびたことになります。

10 gで2 cmのびるので、 $20 \div 2 \times 10$ で求められます。

表をふやして書きこんでいってもよいです。

- 4 ④ まわりにならんだご石の数は、1辺のご石の数の4倍より4こ少なくなります。

③  $8 \times 4 - 4 = 28$

④  $(32 + 4) \div 4 = 9$

**しゅげの5分レッスン** 2つの量のか変わり方のきまりを、もう1回たしかめておこう。

## 20 しりょうの活用

ぴったり1 **じゃんび** 122 ページ

- 1 (1)7、110 (2)9、23

ぴったり2 **練習** 123 ページ

てびき

- 1 ①日…8月2日、気温…約<sup>やく</sup>37.7℃  
②多

- 2 ①買った量…約80000 t  
金がかく…約240億<sup>おく</sup>円  
②約2倍

**しあげの5分レッスン** 2種類のグラフの目もりの読み方を、もう1回かくにんしておこう。

- 1 左のたてのじくは人数、右のたてのじくは気温を表しています。  
①8月2日に約225人で、運ばれた人数がいちばん多くなっています。  
②運ばれた人数は、最高<sup>さいこう</sup>気温が高くなると多くなり、低<sup>ひく</sup>くなると少なくなっています。
- 2 ②2012年に買った金がかくは約130億円で、2019年に買った金がかくは約260億円なので、 $260 \div 130 = 2$ で、約2倍になっています。

**おうちのがたへ** 2つの資料を、1つのグラフに表し、その関係を考えることは、思考力を身につけるうえでもとても大切なことです。身近なものでも、棒グラフと折れ線グラフが重なり合った資料を見つけ、その関係を考えてみるとよいですね。

## 4年のまとめ

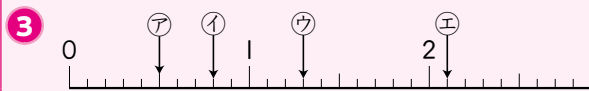
まとめのテスト 124 ページ

てびき

- 1 ①三億六千二百七万六千五百四十三  
がい数…362000000  
②八百二十五億千二十四万九千三百六十七  
がい数…83000000000

- 2 ①25005030000 ②3.064

③帯分数… $1\frac{5}{8}$ 、仮分数… $\frac{13}{8}$



- 4 0、0.06、0.6、0.606、6

5 ① 
$$\begin{array}{r} 9.62 \\ +3.45 \\ \hline 13.07 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 4.72 \\ +2.8 \\ \hline 7.52 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 7.03 \\ -1.86 \\ \hline 5.17 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 6.4 \\ -0.57 \\ \hline 5.83 \end{array}$$

- 1 ①求める位の1つ下の位で四捨五入するので、十万の位を四捨五入します。  
②一億の位を四捨五入します。

- 2 ②0.1のこ数は0なので、気をつけましょう。

- 3 小さい1目もりは0.1、 $\frac{1}{10}$ です。

- 4 小数点をたてにそろえて書いて、くらべます。

- 5 小数のたし算とひき算も、整数のたし算とひき算のように、位をそろえて計算します。  
④6.40として計算します。

6 ①  $1\frac{1}{9}$  ②  $6\frac{2}{7}$  ③  $\frac{6}{9}$  ④  $2\frac{1}{4}$

7 ① 
$$\begin{array}{r} 7 \\ 14 \overline{) 98} \\ \underline{98} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 18 \\ 47 \overline{) 846} \\ \underline{47} \\ 376 \\ \underline{376} \\ 0 \end{array}$$

6 分母が同じ分数のたし算とひき算は、分母はそのままで分子どうしをたしたり、ひいたりします。

①  $\frac{7}{9} + \frac{3}{9} = \frac{10}{9} = 1\frac{1}{9}$

②  $3\frac{5}{7} + 2\frac{4}{7} = 5\frac{9}{7} = 6\frac{2}{7}$

③  $1\frac{2}{9} - \frac{5}{9} = \frac{11}{9} - \frac{5}{9} = \frac{6}{9}$

④  $3 - \frac{3}{4} = 2\frac{4}{4} - \frac{3}{4} = 2\frac{1}{4}$

7 商が何の位からたつかを考えて、かりの商をたてます。かりの商が大きすぎたら、商を1ずつ小さくしていきます。

**おうちのかなへ** 小4で学習する「数と計算」がどれだけ理解できているかを確認める問題です。すべて大切な内容なので、まちがえた問題は、もう1回やりなおしましょう。また、その学習内容を復習しておきましょう。

## まとめのテスト

125 ページ

てびき

1 ① 
$$\begin{array}{r} 0.76 \\ \times 4 \\ \hline 3.04 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 0.7 \\ 43 \overline{) 30.1} \\ \underline{301} \\ 0 \end{array}$$

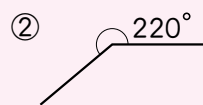
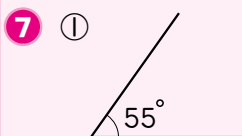
2 ① 788 ② 320

3 式  $288 \div 8 = 36$  答え 36 ふくろ

4 式  $173 \div 4 = 43$  あまり 1  
 答え 3台のバスに43人ずつ乗り、  
 1台のバスに44人乗る。

5  $90 - 75 \div (6 + 9) = 90 - 75 \div 15$   
 $= 90 - 5 = 85$

6 ①  $40^\circ$  ②  $330^\circ$



8 ㉞  $78^\circ$  ①  $45^\circ$

1 整数のかけ算・わり算と同じように計算し、積はかけられる数の小数点より下のけた数が同じになるように小数点をつけ、商は、わられる数の小数点にそろえてつけます。

2 ①  $197 \times 4 = (200 - 3) \times 4 = 200 \times 4 - 3 \times 4$   
 $= 800 - 12 = 788$

②  $5 \times 64 = 5 \times 2 \times 32 = (5 \times 2) \times 32$   
 $= 10 \times 32 = 320$

3 求めているものは、いくつ分です。

4 あまりの1人もバスに乗るので、  
 1台は  $43 + 1$  で44人乗ることになります。

5 ( )の中、わり算、ひき算の順に計算します。

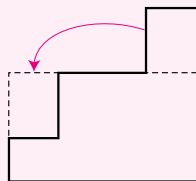
6 ②  $180^\circ$  をこえた分をはかって、  
 $180^\circ + 150^\circ$  として求めます。  
 また、 $180^\circ$  より大きい角なので、小さい方の角をはかって  $360^\circ - 30^\circ$  と求めてもよいです。

7 ②  $180^\circ$  より大きい角なので、 $180^\circ$  より大きい分だけはかってかくか、1回転の角から小さい方の角をはかってかくかのどちらかにかきます。

8  $160^\circ - \text{㉞} + 98^\circ = 180^\circ$   
 $45^\circ + 90^\circ + \text{①} = 180^\circ$

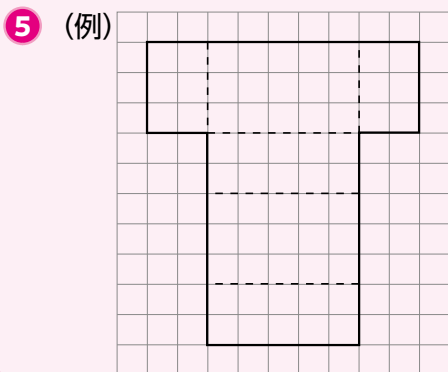
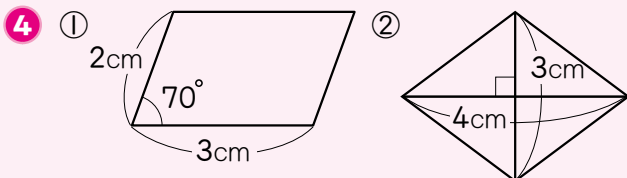
**おうちのかなへ** 小4で学習する、「数と計算」と「角」がどれだけ理解できているかを確認める問題です。文章題やまちがいを見つける問題のように、少し難しいものもありますが、できるようになるとよいですね。

- 1 ①  $71 \text{ cm}^2$  ②  $760 \text{ m}^2$



- 2 ① 280 ② 50

- 3 ア  $90^\circ$  イ  $100^\circ$  ウ  $80^\circ$  エ  $100^\circ$



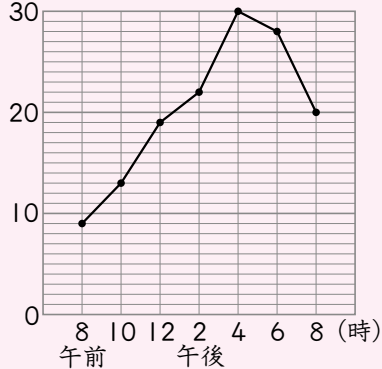
- 1 ①  $8 \times 12 - 5 \times 5 = 71$   
 ② 3つに分けて面積を求めます。  
 $35 \times 10 = 350$   
 $(35 - 15) \times 18 = 360$   
 $(35 - 15 - 15) \times 10 = 50$   
 $350 + 360 + 50 = 760$   
 または、動かして1つの長方形にします。  
 $(35 - 15) \times 38 = 760$

- 2 ①  $1 \text{ a} = 100 \text{ m}^2$  を使って考えます。  
 ②  $1 \text{ km}^2 = 100 \text{ ha}$  を使って考えます。
- 3 2本の直線が交わってできた角で、向かい合った角は同じ大きさになります。  
 また、平行な2本の直線は、ほかの直線と同じ角度で交わります。
- 4 ①  $3 \text{ cm} \rightarrow 70^\circ \rightarrow 2 \text{ cm}$  の順にかき、コンパスか分度器を使って、右上の頂点を決めます。  
 ② 対角線が、それぞれ  $1.5 \text{ cm}$  と  $2 \text{ cm}$  のところで交わります。
- 5 ほかにいろいろな展開図をかいて、組み立ててみましょう。

**おうちのかたへ** 小4で学習する、「面積」、「四角形」、「直方体と立方体」がどれだけ理解できているかを確認する問題です。できなかった問題は、しっかりとその内容を復習しておきましょう。

- 1 ① <sup>ヘンエーデー</sup>辺AD、<sup>ビーシー</sup>辺BC、<sup>イー</sup>辺AE、<sup>エフ</sup>辺BF  
 ② <sup>ジー</sup>辺EF、<sup>エイチ</sup>辺FG、<sup>アイ</sup>辺GH、<sup>エフ</sup>辺HE

- 2 (台)ある時こくに通る車の台数



- 3 ① 5月から10月まで ② <sup>きょうと</sup>京都市  
 4 ①  $3 \times \square = \bigcirc$  ② 21

- 1 ① 辺ABに交わっている4つの辺は、すべて <sup>すいちよく</sup>垂直に交わっています。  
 ② 面ABCDにふくまれず、交わりもしない4つの辺が、平行になっています。  
 2 表から、グラフ上に点をとっていき直線 <sup>むす</sup>で結びます。  
 3 ② いちばん高かった気温 <sup>ひく</sup>といちばん低かった気温 <sup>さ</sup>の差が大きい京都市の方が、気温 <sup>か</sup>の変わり方が大きいといえます。  
 4 ① 2こで6gだから、1こで3gです。□このときの重さ○gは、 $3 \times \square = \bigcirc$ となります。  
 ②  $3 \times \square = 63$ だから、 $\square = 63 \div 3$ です。

**おうちのかなへ** 小4で学習する「直方体と立方体」、「折れ線グラフ」、「ともなって変わる量」が理解できているかを確認する問題です。思考力や判断力を必要とする問題もありますが、できるようになるとよいですね。わからないところは、しっかりと復習しておきましょう。



すじ道を立てて考えよう

- ☆ ①カ ②エ ③イ ④カ

- ☆ ① <sup>ア</sup>ア①と<sup>ウ</sup>ウ⑤がつり合うから、<sup>オ</sup>オか<sup>カ</sup>カがちがいます。  
 ② <sup>ア</sup>ア①と<sup>オ</sup>オカがつり合うから、<sup>ウ</sup>ウか<sup>エ</sup>エがちがいます。  
 ③ <sup>ア</sup>ア①と<sup>オ</sup>オカがつり合わないから、<sup>ア</sup>アか<sup>イ</sup>イがちがいます。  
 ④ <sup>オ</sup>オか<sup>カ</sup>カがちがい、<sup>オ</sup>オと<sup>ア</sup>アがつり合うから、<sup>カ</sup>カがちがいます。



**1** ①4030000000

②23000000

③48000000000

**2** ①5431万 ②2244億

**3** ①360等分 ②180°

**4** ① 
$$\begin{array}{r} 6 \\ 5 \overline{) 33} \\ \underline{30} \\ 3 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 7 \\ 7 \overline{) 54} \\ \underline{49} \\ 5 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 72} \\ \underline{6} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 21 \\ 4 \overline{) 86} \\ \underline{8} \\ 6 \\ \underline{4} \\ 2 \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 23 \\ 6 \overline{) 140} \\ \underline{12} \\ 20 \\ \underline{18} \\ 2 \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 109 \\ 4 \overline{) 436} \\ \underline{4} \\ 36 \\ \underline{36} \\ 0 \end{array}$$

**5** ①7

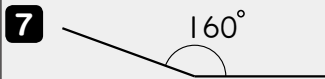
②7あまり30

**6** ① 
$$\begin{array}{r} 5 \\ 17 \overline{) 85} \\ \underline{85} \\ 0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 3 \\ 42 \overline{) 126} \\ \underline{126} \\ 0 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 31 \\ 32 \overline{) 992} \\ \underline{96} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 7 \\ 67 \overline{) 507} \\ \underline{469} \\ 38 \end{array}$$



**8** ①午後5時から午後6時の間

②2℃

**1** ①10億を4こで40億なので、

40億と3000万を合わせた数です。

②230万を10倍すると、2300万になります。

**2** ひき算、かけ算をして、万、億をつけます。

**3** 1回転した角の大きさは360°で、直線の角の大きさは180°です。

**4** 計算の答えは次の通りです。

①6あまり3

②7あまり5

③24

④21あまり2

⑤23あまり2

⑥109

**5** ①10をもとにして、 $28 \div 4$ の計算で求めます。

② $45 \div 6 = 7$ あまり3ですが、あまりは30になります。答えのたしかめをしてみましょう。

**6** 計算の答えは次の通りです。

①5

②3

③31

④7あまり38

**7** 角の頂点になる場所を決め、そこから1つの辺をかきます。分度器の中心を角の頂点に合わせ、0°の線を、角の1つの辺に重ねます。

160°の目もりのところに点をうちます。

頂点と打った点を直線で結んで、もう1つの辺をかきます。2つの辺ではさまれた角が求める角です。このとき、どちらの角が求める角なのかがわかるように、角にしるしをつけます。

**8** ①グラフの上がり方や下がり方が、いちばん急であるところを見つけます。

②午前8時の気温は27℃、午前12時の気温は29℃だから、 $29 - 27 = 2$ で、2℃。

9 式  $55 \div 4 = 13$  あまり 3  
 $13 + 1 = 14$  答え 14 きゃく

10 式  $820 \div 16 = 51$  あまり 4  
 答え 51 まいで、4 まいあまる。

11 いちばん大きい数...6654321000  
 いちばん小さい数...1000234566

12 けがの種類と場所 (人)

	ろうか	教室	体育館	校庭	合計
すりきず	〒 2	- 1	0	〒 2	5
切りきず	0	- 1	0	- 1	2
打ち身	0	〒 2	- 1	0	3
ねんざ	0	0	- 1	0	1
合計	2	4	2	3	11

13 ㊦  $75^\circ$  ㊧  $15^\circ$

**🏠 おうちのかたへ** 夏休みまでに学習してきたことが、どの程度身についていたか、理解できているかを確かめるテストです。まちがった問題や、理解が不十分なところは、必ず復習するようにしましょう。

9 4人ずつすわるので、わり算です。  
 $55 \div 4 = 13$  あまり 3  
 になります。4人ずつすわった長い  
 すは 13 きゃくですが、あまりの 3  
 人にも長いすがいるので、 $13 + 1$   
 で 14 きゃく必要です。

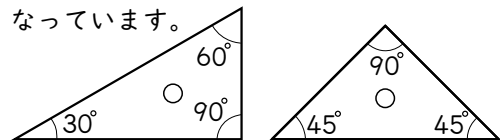
$$\begin{array}{r} 13 \\ 4 \overline{) 55} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{12} \\ 3 \end{array}$$

10 同じ数ずつ分けるので、わり算です。

$$\begin{array}{r} 51 \\ 16 \overline{) 820} \\ \underline{80} \phantom{0} \\ 20 \\ \underline{16} \\ 4 \end{array}$$

11 10けたの数のうち、大きい位の数字くひが小さい方が小さくなります。ただし、0は左はしの位におくことができません。

13 1組の三角じょうぎの角の大きさは、次のようになっています。



㊦  $45^\circ + 30^\circ = 75^\circ$  ㊧  $60^\circ - 45^\circ = 15^\circ$



1 ①28000 ②600000

2 ①70000 cm<sup>2</sup> ②26 km<sup>2</sup> ③32 a  
④600 ha

3 ①< ②>

4 ①68 ②0.534

5 ①57 ②240

6 ①1700 ②6630

7 ①135 cm<sup>2</sup> ②103 m<sup>2</sup>

1 もと 求める位の くらい 1つ下の位で ししやごにゆう 四捨五入します。

①百の位が3なので、切り捨てます。

②千の位が7なので、切り上げます。一万の位の9に1くり上が

600000  
597423

り、さらに十万の位に1くり上がります。

2 ①1 m = 100 cm だから、1 m<sup>2</sup> = 10000 cm<sup>2</sup>。

②1 km = 1000 m だから、  
1 km<sup>2</sup> = 1000000 m<sup>2</sup> です。

③1 a = 100 m<sup>2</sup> です。

④1 km<sup>2</sup> = 100 ha です。

3 小数点をそろえて大きい位から数字をくらべます。

①小数第一位の数字が3より4の方が大きいので、  
0.35 < 0.402 になります。

②小数第二位の数字が4よりも6の方が大きいので、  
5.061 > 5.04 になります。

4 ①100倍すると、どの数字も位 0.68  
が2つ上がった数になります。

② $\frac{1}{10}$  にすると、どの数字も位 0.5,34  
が1つ下がった数になります。

5 ①( )の中、かけ算、たし算の順に計算します。

$$(16-9) \times 7 + 8 = 7 \times 7 + 8 \\ = 49 + 8 = 57$$

②13×6も27×6もかける数が6なので、  
計算のきまりを使って計算しやすくします。

$$13 \times 6 + 27 \times 6 = (13 + 27) \times 6 \\ = 40 \times 6 = 240$$

6 ①17×4×25 = 17×(4×25)  
= 17×100 = 1700

②102×65 = (100+2)×65  
= 100×65 + 2×65  
= 6500 + 130 = 6630

7 ①長方形の面積 = たて × 横で求めます。

②2つの長方形に分けて求めます。

$$13 \times 7 + 3 \times (11 - 7) = 13 \times 7 + 3 \times 4 \\ = 91 + 12 \\ = 103$$

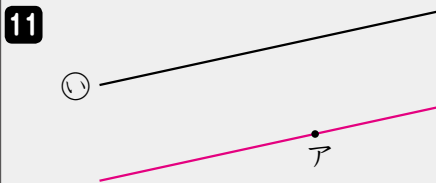
図のように、大きい長方形から、小さい長方形をのぞいてもよいです。

$$13 \times 11 - (13 - 3) \times (11 - 7) \\ = 13 \times 11 - 10 \times 4 \\ = 143 - 40 = 103$$

8 ①7.83 ②10 ③3.98 ④1.27

9 ①151 ②5.7

10 ㉠75° ㉡75° ㉢105°

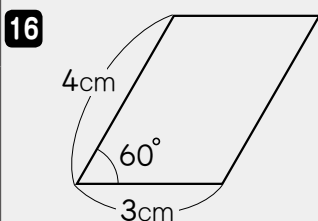


12 ①㉠、㉡、㉣、㉤  
②㉠、㉡、㉣、㉤  
③㉣、㉤

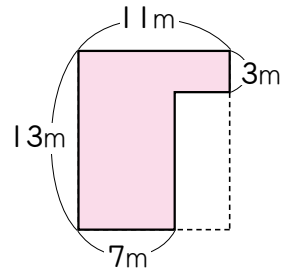
13 7

14 式  $1800 + 400 + 600 = 2800$   
答え 約 2800 円

15 式  $1000 - 55 \times 6 = 670$   
答え 670 円



**おうちのかたへ** 冬休みまでに学習してきたことが、どの程度身についていたか、理解できているかを確かめるテストです。まちがった問題や、理解が不十分なところは、必ず復習するようにしましょう。



8 ① 
$$\begin{array}{r} 5.38 \\ +2.45 \\ \hline 7.83 \end{array}$$
 ② 
$$\begin{array}{r} 3.61 \\ +6.39 \\ \hline 10.00 \end{array}$$
  
③ 
$$\begin{array}{r} 9.24 \\ -5.26 \\ \hline 3.98 \end{array}$$
 ④ 
$$\begin{array}{r} 6.00 \\ -4.73 \\ \hline 1.27 \end{array}$$

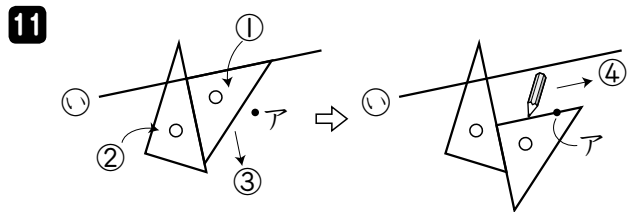
9 <sup>ていいてん</sup> 定位点の1つを一の位と決めて計算をしましょう。

② 定位点の1つ右側の位が  $\frac{1}{10}$  の位になります。

10 ㉠ 2本の直線が交わってできた角で、向かい合った角は同じ大きさになります。

㉡ 平行な2本の直線㉢、㉣は、ほかの直線㉤と等しい角度で交わります。

㉢と㉣の角度の和は  $180^\circ$  です。



12 台形は向かい合った1組の辺が平行な四角形です。図形をかいてたしかめましょう。

13 色がついていない部分の面積は、

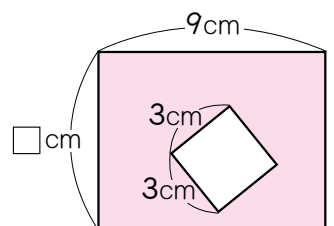
$3 \times 3 = 9$  で、 $9 \text{ cm}^2$ 。

大きい長方形の面積

は  $54 + 9 = 63$  で、

$63 \text{ cm}^2$ 。

$\square \times 9 = 63$  だから、 $\square = 7$



14 切り上げて百の位までのが**く**い数にして計算します。

15 えん筆6本の代金は、 $55 \times 6$  で 330 円になります。

16 3cmの直線をかき、左の頂点に**ちゆうてん** 分度器の中心を合わせて  $60^\circ$  をとって、4cmの線をひきます。ものさしと三角じょうぎを使うか、コンパスで3cmと4cmをとるか、どちらかの方法で右上の頂点をかき、線と**むす**びます。



# 春のチャレンジテスト

アビキ

- 1 ①46 ②5.12 ③4.5 ④1.85

- 2 ①4.4 ②0.4

- 3 答え…7あまり1.9  
たしかめ… $6 \times 7 + 1.9 = 43.9$

- 4 ① $\frac{11}{4}$  ② $\frac{52}{9}$  ③ $3\frac{1}{5}$  ④8

- 5 ① $\frac{5}{6}$  ② $1\frac{2}{7}$  ③ $2\frac{2}{5}$  ④ $5\frac{2}{11}$  ⑤ $\frac{7}{10}$

- ⑥ $\frac{5}{8}$  ⑦ $1\frac{7}{9}$  ⑧ $\frac{3}{8}$

- 6 ①4つ  
②3つ  
③辺EF、辺BF、ヘンイーエフ辺HG、ビー辺CG  
④辺EF、エイチジー辺FG、シー辺GH、辺HE

1 ① 
$$\begin{array}{r} 9.2 \\ \times 5 \\ \hline 46.0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 0.64 \\ \times 8 \\ \hline 5.12 \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 4.5 \\ 17 \overline{) 76.5} \\ \underline{68} \phantom{0} \\ 85 \\ \underline{85} \\ 0 \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 1.85 \\ 4 \overline{) 7.4} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 34 \\ \underline{32} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

- 2 小数第二位を四捨五入します。

① 
$$\begin{array}{r} 4.35 \\ 7 \overline{) 30.5} \\ \underline{28} \phantom{0} \\ 25 \\ \underline{21} \\ 40 \\ \underline{35} \\ 5 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 0.43 \\ 38 \overline{) 16.5} \\ \underline{152} \\ 130 \\ \underline{114} \\ 16 \end{array}$$

- 3 
$$\begin{array}{r} 7. \\ 6 \overline{) 43.9} \\ \underline{42} \\ 1.9 \end{array}$$
 あまりの小数点は、わられる数の  
小数点にそろえてつけます。

- 4 ① $4 \times 2 + 3 = 11$ で、 $\frac{11}{4}$

③ $16 = 5 \times 3 + 1$ だから、 $3\frac{1}{5}$

- 5 ② $\frac{5}{7} + \frac{4}{7} = \frac{9}{7} = 1\frac{2}{7}$

③ $1\frac{4}{5} + \frac{3}{5} = 1\frac{7}{5} = 2\frac{2}{5}$

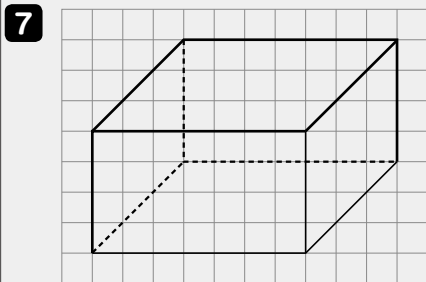
④ $3\frac{4}{11} + 1\frac{9}{11} = 4\frac{13}{11} = 5\frac{2}{11}$

⑥ $1\frac{2}{8} - \frac{5}{8} = \frac{10}{8} - \frac{5}{8} = \frac{5}{8}$

⑦ $3\frac{2}{9} - 1\frac{4}{9} = 2\frac{11}{9} - 1\frac{4}{9} = 1\frac{7}{9}$

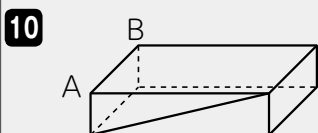
⑧ $3 - 2\frac{5}{8} = 2\frac{8}{8} - 2\frac{5}{8} = \frac{3}{8}$

- 6 ①となり合っている面が垂直な面です。  
②見えない辺HGも平行です。  
③直方体の交わっている辺は、垂直です。  
④面に平行な辺は、その面に平行な面の中にある  
辺です。



**8** ①式  $3\frac{1}{9} - 1\frac{7}{9} = 1\frac{3}{9}$       答え  $1\frac{3}{9}$  km  
 ②式  $3\frac{1}{9} - 2\frac{5}{9} = \frac{5}{9}$       答え  $\frac{5}{9}$  km

**9** 式  $1.75 \times 2 = 3.5$   
 $3.5 - 0.2 = 3.3$       答え 3.3 m



**11** ①  $30 \times \square = \bigcirc$     ② 6 こ

**12** ① |辺とまわりのおはじきのこ数

辺のおはじきの数(こ)	2	3	4	5	6	7
まわりのおはじきの数(こ)	3	6	9	12	15	18

② 9 こ    ③ 27 こ

**🏠 おうちのかたへ** 春休みまでに学習してきたことが、どの程度身についていたか、理解できているかを確かめるテストです。まちがった問題や、理解が不十分なところは、必ず復習するようにしましょう。

**7** たて5cm、横7cm、高さ4cmの直方体です。

**8** ①家から公園までの道のりから、家から学校までの道のりをひきます。

$$3\frac{1}{9} - 1\frac{7}{9} = 2\frac{10}{9} - 1\frac{7}{9} = 1\frac{3}{9}$$

②家から公園までの道のりから、駅から公園までの道のりをひきます。

**9** テープ2本分の長さから、のりしろで重なった0.2mをひきます。

**10** 面と面のつながりを考えます。

わからなければ、㊦を切り取って組み立ててみます。

**11** ①みかん | このねだん  $\times$  こ数 = 代金

②  $30 \times \square = 180$  だから、 $\square = 180 \div 30$  です。

**12** 図から、|辺のおはじきの数が|ふえると、まわりのおはじきの数が3ふえることがわかります。

① |辺のおはじきの数が6こ、7このときは、それぞれ、 $12 + 3 = 15$ 、 $15 + 3 = 18$

② 3こずつふえるので、 $18 + 3 + 3$  で24になります。

|辺のおはじきの数は9こです。

③ 表をたてに見ると、

まわりのおはじきの数

$$= |辺のおはじきの数 \times 3 - 3$$

と表せるので、

$$10 \times 3 - 3 = 27 \text{ で、} 27 \text{ こです。}$$

- 1** ①5020000000  
②1000000000000
- 2** ①3 ②25あまり11 ③4.04  
④0.64 ⑤107.3 ⑥0.35  
⑦ $\frac{9}{7}(1\frac{2}{7})$  ⑧ $\frac{11}{5}(2\frac{1}{5})$   
⑨ $\frac{6}{8}$  ⑩ $\frac{3}{4}$
- 3** ①9 ②5 ③8
- 4** ①式  $20 \times 30 = 600$  答え  $600 \text{ m}^2$   
②式  $500 \times 500 = 250000$   
( $250000 \text{ m}^2 = 25 \text{ ha}$ )  
答え  $25 \text{ ha}$
- 5** ① $15^\circ$  ② $45^\circ$  ③ $35^\circ$
- 6** ①あ、い、え、お  
②あ、い、え、お ③あ、い
- 7** ①えの面  
②あの面、うの面、えの面、かの面
- 8** ①45 ②9 ③54
- 9** ①
- |                |   |   |    |    |    |    |    |
|----------------|---|---|----|----|----|----|----|
| だんの数<br>(だん)   | 1 | 2 | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| まわりの長さ<br>(cm) | 4 | 8 | 12 | 16 | 20 | 24 | 28 |
- ② $\bigcirc \times 4 = \triangle$   
③式  $9 \times 4 = 36$  答え  $36 \text{ cm}$
- 10** ①2000 ②200 ③2000  
④200 ⑤400000  
⑥(例)けたの数がちがう
- 11** ①い  
②(例)6分間水の量が変らない部分があるから。

- 1** 0の場所や数をまちがえていないか、右から4けたごとに区切って、たしかめましょう。
- 2** ⑧⑩<sup>たいぶんすう</sup>帯分数のたし算・ひき算は<sup>かぶんすう</sup>仮分数になおして計算するか、整数と真分数に分けて計算します。
- ⑧  $1\frac{4}{5} + \frac{2}{5} = \frac{9}{5} + \frac{2}{5} = \frac{11}{5}$   
または、 $1\frac{4}{5} + \frac{2}{5} = 1 + \frac{6}{5} = 1 + 1\frac{1}{5} = 2\frac{1}{5}$
- ⑩  $1\frac{1}{4} - \frac{2}{4} = \frac{5}{4} - \frac{2}{4} = \frac{3}{4}$   
または、 $1\frac{1}{4} - \frac{2}{4} = \frac{1}{4} + 1 - \frac{2}{4} = \frac{1}{4} + \frac{2}{4} = \frac{3}{4}$
- 3** <sup>もと</sup>求められるところから、計算します。  
<sup>たと</sup>例えば、② $16 - 11 = 5$  ③ $19 - 11 = 8$   
次に、①を計算します。① $17 - 8 = 9$
- 4** ② $10000 \text{ m}^2 = 1 \text{ ha}$ です。 $250000 \text{ m}^2 = 25 \text{ ha}$ ははぶいて書いていなくても、答えが25 haとなっていれば正かいです。
- 5** ① $45^\circ - 30^\circ = 15^\circ$  ② $180^\circ - (35^\circ + 100^\circ) = 45^\circ$   
③向かい合った角の大きさは同じです。または、④の角が $45^\circ$ だから、 $180^\circ - (100^\circ + 45^\circ) = 35^\circ$
- 6** それぞれの四角形のせいしつを、整理した上で考えるとよいです。
- 7** 実さいに組み立てた図に記号を書きこんで考えるとよいです。
- 8** ① $40 + 15 \div 3 = 40 + 5 = 45$   
② $72 \div (2 \times 4) = 72 \div 8 = 9$   
③ $9 \times (8 - 4 \div 2) = 9 \times (8 - 2) = 9 \times 6 = 54$
- 9** ②③まわりの長さはだんの数の4倍になっていることが、①の表からわかります。
- 10** 上から1けたのがい数にして、見積り<sup>みつき</sup>の計算をします。  
⑥44|60と数がまったくちがうことが書けていれば正かいとします。
- 11** あおいさんは、とちゅうで6分間水をとめたので、その間は水そうの水の量は変わりません。  
②あおいさんが水をとめている間は、水の量が変らないので、折れ線グラフの折れ線が横になっている部分があるということが書けていても正かいです。